

令和 4 年度

福岡アジア美術館年報

Fukuoka Asian Art Museum Annual Report 2022

令和 4 年度

福岡アジア美術館年報

Fukuoka Asian Art Museum Annual Report 2022

目 次

■ 展示事業	
1 特別企画展	4
2 小企画展	8
3 コレクション展	9
■ 交流事業	
1 招聘事業	12
2 受入支援事業	20
3 地域交流事業	21
4 事業活動紹介展示	22
■ 教育普及事業	24
■ ミュージアム施策事業	25
■ ボランティア事業	27
■ 広報活動	29
■ 所蔵作品	
1 新所蔵作品	32
2 貸出一覧	41
3 修復一覧	43
■ 観覧者数	44
■ 活動記録	48
■ 名簿	51



展示事業

NTT西日本スペシャル おいでよ！絵本ミュージアム2022



会 期	2022年7月19日(火)～8月28日(日) (会期中は無休)
会 場	福岡アジア美術館 企画ギャラリーなど
主 催	福岡アジア美術館、西日本新聞社、TNCテレビ西日本、NPO法人子ども文化コミュニティ、西日本新聞イベントサービス
特 別 協 賛	NTT西日本
協 力	NTTコミュニケーション科学基礎研究所、アレックス・ラティマー、たけうちひろ、西内ミナミ、はたこうしろう、彦坂木版工房、堀内事務所、聞かせ屋、けいたろう、タトル・モリ エージェンシー、アリス館、偕成社、KADOKAWA、くもん出版、講談社、こぐま社、童心社、福音館書店、アートキッチン、A4/エーヨン、エフコープ生活協同組合、三和化工、昭和産業、トラフ建築設計事務所、ブラブラックス、ホテルオークラほか
後 援	福岡県、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、(公財)福岡市文化芸術振興財団、(一社)福岡県私立幼稚園振興協会、福岡県PTA連合会、福岡市PTA協議会、福岡県子ども会育成連合会、福岡県保育協議会
開 催 日 数	41日間
観 覧 者 数	31,442人

116回目となる今年のテーマは「だいすき！」。子どもの日常や成長の過程において、だいすきに囲まれて育つことは子どもの中にある力と可能性を育む。コロナ禍においても、これまでの絵本ミュージアムの特徴でもある絵本の世界観の中で絵本との出会いやコミュニケーションを“安心して”楽しめる会場構成と運営で展開した。NTTグループの協力のもとに先端技術を活用した展示も行った。

- ポスター B2 たけうちひろ 他・あおいろデザイン(デザイン)／西日本新聞プロダクツ(印刷)
- チ ラ シ A3 たけうちひろ 他・あおいろデザイン(デザイン)／西日本新聞プロダクツ(印刷)

関 連 事 業 ◇ワークショップ
「絵本作家たけうちひろ 切り絵でつくる木のモビール」
講師：たけうちひろ(絵本作家)
日時：7月23日(土)、7月24日(日)11:00～12:00／14:00～15:00
会場：アートカフェ

◇ギャラリートーク
「彦坂木版工房ギャラリートーク『木版画はおもしろい!』」
講師：もりといすみ(彦坂木版工房)
日時：8月6日(土)10:30～11:15／13:30～14:15
会場：アートカフェ

「聞かせ屋。けいたろうの読み聞かせ会」
講師：聞かせ屋。けいたろう
日時：8月21日(日)、8月23日(火)11:30～12:00／13:00～13:30
会場：アートカフェ

「もくねんさん「おがくすでできた粘土で遊ぼう」『ジュース糖度実験』」
講師：エフコープ生協
日時：8月2日(火)、8月3日(水)10:00～17:00
会場：アートカフェ

「TNCテレビ西日本アナウンサー 絵本の読み聞かせワークショップ」
講師：TNCアナウンサー
日時：7月22日(金)、7月29日(金)、8月5日(金)、8月12日(金)、8月19日(金)、8月26日(金)11:30～12:00／13:00～13:30
会場：アートカフェ

「絵本ワークショップ」
講師：子ども文化コミュニティ
日時：7月19日(火)～8月28日(日)10:00～16:00
会場：アートカフェ

主な関連記事

2022. 7. 7 西日本新聞(朝)事業紹介
2022. 7.15 西日本新聞(朝)本社の事業「NTT西日本スペシャル おいでよ！絵本ミュージアム」
2022. 7.20 西日本新聞(朝)開幕記事
2022. 7.20 西日本新聞(夕)本社の事業「NTT西日本スペシャル おいでよ！絵本ミュージアム」
2022. 7.22 ファンファン福岡 事業紹介／チケットプレゼント

- 2022. 7.23 ARTNE 夏休みに行きたい展覧会特集！
- 2022. 8. 2 ファンファン福岡WEB 会場レポート／たけうちひろさんインタビュー
- 2022. 8. 5 ARTNE 福岡アジア美術館で開催中の「絵本ミュージアム」を体感しよう♪
- 2022. 8.10 西日本新聞(朝)1万人突破セレモニー
- 2022. 8.10 西日本新聞(朝)もっと九州「NTT西日本スペシャルおいでよ！絵本ミュージアム」写真グラフ
- 2022. 8.11 西日本新聞(朝)高宮氏連載「絵本だいすき！」④出会いの大切さ伝える
- 2022. 8.12 西日本新聞(朝)高宮氏連載「絵本だいすき！」⑤共感できる成長の物語
- 2022. 8.13 西日本新聞(朝)高宮氏連載「絵本だいすき！」⑥大切なもの
- 2022. 8.17 西日本新聞(朝)親子で読む こどもタイムズ こども記者取材記事
- 2022. 8.19 西日本新聞(朝)本社の事業「絵本の読み聞かせワークショップ」
- 2022. 8.24 西日本新聞(夕)本社の事業「絵本の読み聞かせワークショップ」

主な関連放送

- 2022. 7.19 TNCテレビ西日本 ももち浜ストア(生中継)
- 2022. 7.19 TNCテレビ西日本 報道ワイド 記者のチカラ(項目紹介)
- 2022. 7.19 TNCテレビ西日本 FNN Live News α(開幕ニュース)
- 2022. 8. 6 TNCテレビ西日本 土曜NEWSファイル CUBE(生中継)
- 2022. 8. 9 TNCテレビ西日本 報道ワイド 記者のチカラ(セレモニー)
- 2022. 8.10 TNCテレビ西日本 ももち浜ストア(セレモニーほか)

エモーションナル・アジア



メイン会場：福岡アジア美術館 アジアギャラリー（7階）
会 期 2022年9月15日（木）～12月25日（日）
計86日間 ※水曜日及び9/18・19は台風による休館

サテライト展覧会：ポートレース福岡×チェ・ジョンファ
会 期 9月23日（金・祝）～10月30日（日）間のレース開催日
会 場 ポートレース福岡

サテライト展覧会2：吉塚市場リトルアジアマーケット×アジア現代映像セレクション
会 期 9月23日（金・祝）～10月6日（木）
会 場 吉塚市場リトルアジアマーケット内アジアンプラザ

サテライト展覧会3：幻住庵×ヒルミ・ジョハンディ
会 期 9月27日（火）～10月10日（月・祝）
会 場 幻住庵

主 催 エモーションナル・アジア実行委員会
（福岡アジア美術館、西日本新聞社）
協 力 公益財団法人 福岡文化財団
特 別 協 賛 ポートレース福岡
観 覧 者 数 16,033人

本展は、1990年代から国内外の現代美術を蒐集し、現在では日本のトップコレクターとして知られる宮津大輔氏の個人コレクションと当館所蔵作品を組み合わせ、現代の揺れ動くアジアの情動性（＝エモーションナル）を鮮やかに捉えたアジアの現代アートを紹介する初めての試みであった。展示構成は、東アジア、東南アジア地域を主として、①いまを生きる人間の愛情や悲哀に満ちた姿、②日々の生活の営みや自らの身体をおおうもの、③セクシャルマイ

ノリティとジェンダー、④現代の社会とその背景となる歴史を映すもの、という4つのテーマで構成した。また展覧会の一環として、映像作品上映会の開催やポートレース福岡、博多旧市街エリアなどの街中会場で作品展示を行うことで、アジアの現代アートに気軽に出会える場を提供した。

美術館会場のほか、サテライト展覧会や上映会・トーク等の実施を通して、アジアの現代美術を身近に感じてもらう取り組みに努め、当初目標を上回る16033人の観覧者数を達成した。新型コロナウイルス感染症の影響で感情が激しく揺れ動く日々を経験した今この状況だからこそ、人間の情動性を鮮やかに捉えたアジアの現代アートの魅力を多くの人々に伝えることができた展覧会となった。

ポスター B2 竹藤 智弥(DICTOM DESIGN)(デザイン)／株式会社 西日本新聞プロダクツ(印刷)

チラシ A4 竹藤 智弥(DICTOM DESIGN)(デザイン)／株式会社 西日本新聞プロダクツ(印刷)

図 録 B5縦(257×190mm)112頁 竹藤 智弥(デザイン)(DICTOM DESIGN)／株式会社 西日本新聞プロダクツ(印刷)

関 連 事 業 ◇開会式・プレスツアー
日 時：9月15日（木）9:00～10:30
開会式：アートカフェ

◇ギャラリートーク
宮津大輔氏と学芸員によるギャラリートーク 全3回
講師：宮津 大輔
日時：9月17日（日）、24日（土）、12月25日（日）各日 14:00～14:45
会場：アジアギャラリー

高大生限定 宮津さんとおしゃべりギャラリートーク
日時：11月5日（土）14:00～14:45
会場：アジアギャラリー

◇エモーションナル・アジア×吉塚市場リトルアジアマーケット
福岡はアジアの「アート」と「食」がよからうもん！
吉塚市場リトルアジアマーケット×宮津大輔氏スペシャルトーク
日時：10月2日（日）14:00～16:00
会場：あじびホール

出張！吉塚市場リトルアジアマーケットアジアンフードマルシェ
日時：10月1日（土）、2日（日）、3日（月）各日 11:00～15:00
会場：アートカフェ

◇秋の夜、美術館に響く“弦”の調べ

第一弾

里地 和胡の夕べ～長月のコンサート

日時:9月16日(金)18:30～19:30

会場:アートカフェ

第二弾

KAWAKAMI ソロギターライブ

日時:10月29日(土) 18:00～19:00

会場:アートカフェ

第三弾

九響@アートカフェVol.8～弦楽アンサンブルコンサート

11月25日(金) 18:30～19:30

会場:アートカフェ

◇親子で楽しむアート×ボート

親子で楽しむ★親子アートワークショップ

日時:10月9日(日)、16日(日)各日とも11:00～15:00

会場:ボートレース福岡

アジアの絵本の読み聞かせ

日時:10月9日(日)、16日(日)各日とも13:00～13:30

◇明治産業presents OUR CULTURE, OUR VIEW
コラボイベント

あなたの〈推し〉を見つけてみよう:はじめての〈コレクション推し活〉ワークショップ

日時:12月4日(日) 13:00～17:00

会場:アジアギャラリー

アート・コレクター入門トーク&鑑賞ツアー「売らないアート・コレクターの生態入門」

日時:12月11日(日)13:30～17:00

会場:アジアギャラリー

関連放送

2022.10.11 LOVE FM「761Daytime」

2022.11.13 LOVE FM「Our Culture,Our View」

2022.11.20 LOVE FM「Our Culture,Our View」

2022.12. 4 NHK 日曜美術館 アートシーン

関連記事

2022. 9. 9 西日本新聞(朝) 鶴智雄「現代アートを多彩に 収集家の絵画など95点」

2022. 9.14 西日本新聞(夕)「4会場で現代美術楽しむ」

2022. 9.16 西日本新聞(朝) 鶴智雄「アジアの社会や歴史テーマ 福岡市博多区現代アート展が開幕」

2022.10. 7 西日本新聞(朝)「特別企画展 エモーショナル・アジア 宮津大輔コレクション×福岡アジア美術館」

2022.10. 8 読売新聞(朝) 白石知子「アジア新潮流 光と影」

2022.10.29 毎日新聞 渡辺亮一「心揺さぶる多様性 エモーショナル・アジア展」

2022.12.14 西日本新聞(朝) 山口史帆「社会の課題しなやかに アジアの今映すアート」

2022.12.24 毎日新聞(朝) 渡辺亮一「九州・沖縄・山口の2022年 担当記者振り返り コレクション展が充実」

インド独立75周年・日印国交樹立70周年 インド近代絵画の精華 ーナンダラル・ボースとウペンドラ・マハラティ



関連事業 ◇関連イベント

インド古典舞踊と音楽の公演

日時:10月1日(土)14:00～、16:00～

会場:あじびホール

特別協力:在大阪・神戸インド総領事館

関連記事

2022.12. 2 西日本新聞(朝)「インド独立75周年・日印国交樹立70周年 インド近代絵画の精華」

会 期 2022年9月15日(木)～12月25日(日)
会 場 福岡アジア美術館 アジアギャラリー(7階)
主 催 福岡アジア美術館、ニューデリー国立近代美術館
特 別 協 力 在大阪・神戸インド総領事館
開 催 日 数 計86日間 ※水曜日及び9/18・19は台風による休館
観 覧 者 数 16,033人

インド近代美術のパイオニアのひとりであるナンダラル・ボース(1883-1966)と、その次の世代として登場したウペンドラ・マハラティ(1908-1981)は、アバニンドラナート・タゴール(1871-1951)をはじめとするベンガル派の作家から、思想のうえでも表現のうえでも大きな影響を受けた画家として知られる。

ベンガル派は、20世紀初頭、岡倉天心や横山大観ら日本画壇の重鎮らと交流し、急激な西洋化の波の中で、自国の美術が失われるかもしれないという危機感を共有しながら、西洋画よりも伝統的な表現や技法を重視した。ナンダラルはその代表的存在で、さらにマハラティは1950年代に2年間日本に滞在したことで、仏教的な主題にも傾倒していった人物である。

本展では、ふたりの画業の一端をニューデリー国立近代美術館とパートナー美術館のコレクションで紹介し、あわせて福岡市所蔵の関連作品も展示した。

ポスター B2 福岡アジア美術館(デザイン)/株式会社 昭和堂
TOPLAN(印刷)
チ ラ シ A4 福岡アジア美術館(デザイン)/株式会社 昭和堂
TOPLAN(印刷)
図 録 B5縦(257×182mm)52頁 /福岡アジア美術館、神戸市立博物館、在大阪・神戸インド総領事館(発行)
/株式会社 昭和堂 TOPLAN(デザイン・印刷)

アジアギャラリーでは、所蔵品を通し、アジア美術の近代から現代への流れを概観するとともに、テーマごとに特設コーナーを設け、3～4ヶ月おきに展示替えを行った。令和4年度の特設コーナーで開催した展覧会は下記のとおりである。

草原の国からーモンゴル美術の50年



2022年4月7日(木)～6月28日(火)

1972年にはじまった日本・モンゴルの外交関係樹立50周年を記念して、当館の所蔵品でモンゴル美術の50年をたどった。草原や砂漠など雄大な自然や、モンゴルの歴史、現代の生活など様々な主題を扱ったモンゴルの豊かな美術作品を展示した。

関連記事

2022. 4.29 西日本新聞(朝)「コレクション展 草原の国からーモンゴル美術の50年」

旅立ちのとき



2023年1月2日(月)～3月21日(火)

受験や卒業を経て新たな生活へと旅立つ季節にあわせ、卒業や学び舎、旅立ちや出会いをテーマにしたコレクション展。桜咲き誇る春の学び舎を描いた作品や、卒業を祝う様子をユーモアたっぷりに描いた作品など、訪れる人の人生の折々に寄り添うような作品を紹介した。

関連記事・放送

2023. 3.14 NHK福岡 はっけんTV内コーナー「きょうのわたしの気になるはっけん！」

あじびでGO GO！乗り物大集合



2022年6月30日(木)～9月6日(火)

働き者のショベルカーから海上フェリーまで、夏休み期間中の美術館に子供たちの大好きな乗り物の絵画や写真が大集結。さらにはアジアならではの神様の乗り物や、宮廷の豪華なブランコといった、普段とはちょっと違ったアートな乗り物も登場した。

関連記事

2022. 6.30 西日本新聞(朝)「あじびでGO GO！乗り物大集合」

アジアの近現代美術

- 2022年4月7日(木)～9月6日(火) 「〇△□」
 2022年4月7日(木)～9月6日(火) 「不安の時代—1990年代以降の映像表現」
 2023年1月2日(月)～3月21日(火) 「『私』から問う—多様化するアジアの現代美術」
 2023年1月2日(月)～3月21日(火) 「境界を行き交う—現代アジアのインスタレーション」

関連記事

2022. 4.11 毎日新聞(夕) 桑原ふみ「アートの扉 ルオン・シュアン・ニー《読書する若い娘》アオザイに託す希望」
 2022. 4.11 毎日新聞(夕) 趙純恵「アートの扉 李禹煥《線より》禅僧のごとき筆致」
 2022. 5.23 毎日新聞(夕) 中尾智路「アートの扉 キエン・イムスイリ《音楽のリズム》宿す静かな力感」
 2022. 6.13 毎日新聞(夕) 五十嵐理奈「アートの扉 ハーディム・アリー《誰もいない台所5》異なる現実を重ねて」
 2022. 8.26 西日本新聞(朝) 「コレクション展 アジアの近現代美術—黎明期から現代まで」

あじびコレクションX

関連するテーマのもと、当館所蔵品から数点の作品を選んで対比させ、それぞれの作品世界を紐解くコーナー展示。

- 2022年4月7日(木)～6月14日(火) 「日本作家が描いた〈朝鮮〉」
 2022年6月16日(木)～9月6日(火) 「ベトナムモダンの写し鏡 タ・ティの作品世界」
 2023年1月2日(月)～3月21日(火) 「POSTWAR／戦後」

第32回 福岡アジア文化賞 芸術・文化賞 受賞記念展示

シャジア・シカンダー



- 会 期 2022年9月23日(金)～11月27日(日)
 会 場 福岡アジア美術館 7階ロビー
 Artist Cafe Fukuoka(旧舞鶴中学校内)
 主 催 福岡市、(公財)福岡よかトピア国際交流財団
 協 力 福岡アジア美術館
 シャジア・シカンダー氏(パキスタン出身)の、第32回 福岡アジア文化賞 芸術・文化賞受賞を記念して、当館7階ロビーに2作品、および旧舞鶴中のArtist Cafe Fukuoka ギャラリーに1作品を展示した。

関連記事

2022. 9. 8 西日本(朝) 「第32回福岡アジア文化賞市民フォーラム」



交 流 事 業

交流事業

1 招聘事業

本事業は、アジア各地で活躍する美術作家や研究者・学芸員等を福岡に招聘し、市民との共同制作やワークショップ、トークなどの美術交流事業を行うことで、市民がアジアの美術・文化に対する興味を高め、理解を深める一助となることを目指すとともに、アジア美術を取り巻く状況の活性化を目的としている。

令和4年度上半期は、令和2年度に見送った2名の美術作家(イ・ビョンチャン／韓国、リーロイ・ニュー／フィリピン)を招へいした。下半期からは、招へい作家の対象を国内外にひろげ、制作活動の拠点をArtist Cafe Fukuoka(旧舞鶴中学校)のスタジオに移したアーティスト・イン・レジデンス事業として拡充した。



第Ⅰ期

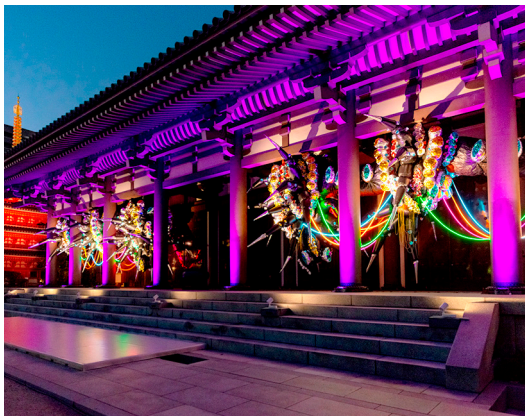
イ・ビョンチャン
(韓国)[美術作家]

1987年、韓国生まれ、ソウル在住
滞在期間:7月21日(木)～10月11日(火)

□主な活動

①作品制作

歴史のある東長寺において、まるで深海の生物のような、鮮やかに発光する大型の立体作品《生物/Creature》を「FaN Week 博多旧市街フェスティバル」で発表した。また、福岡アジア美術館では、「第16回アーティスト・イン・レジデンスの成果展 都市に棲むものたち:イ・ビョンチャン×リーロイ・ニュー」で同作品に手を加えて展示した。



《生物/Creature》2022年、東長寺



《生物/Creature》2022年、福岡アジア美術館



スタジオでの制作風景



ワークショップの様子

②ワークショップ

10月9日(日)

「呼吸するビニール彫刻」

参加者は、イ・ビョンチャンの展示作品《生物/Creature》を美術作家と一緒に鑑賞し、作品についての説明やビニール素材を使ってどのように作品が作られていったのかなどについて、デモンストレーションを見ながら話を聞いた。その後、2つのグループに分かれて全長10メートル以上の巨大なビニール彫刻作品を共同制作した。

参加者:一般18人

場 所:アートカフェ

③トーク

8月6日(土)

「滞在作家によるアーティスト・トーク Voices:ソウル×マニラ×福岡」

参加者:一般51人

場 所:交流スタジオ



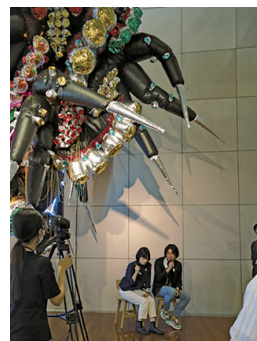
アーティスト・トーク

10月8日(土)

「第16回アーティスト・イン・レジデンスの成果展 ギャラリー・トーク」

参加者:一般54人

場 所:7階ロビー(展示作品前)



ギャラリー・トーク



第 I 期

リーロイ・ニュー
(フィリピン) [美術作家]

1986年 フィリピン、ミンダナオ島生まれ、マニラ在住
滞在期間: 7月25日(木)~10月11日(火)

□主な活動

①作品制作

歴史のある妙楽寺を舞台に、ペットボトルを素材にした大型のインスタレーション《心霊体プラスチック・パレテ/バクナワ》を「FaN Week 博多旧市街フェスティバル」で発表した。また、福岡アジア美術館では、「第16回アーティスト・イン・レジデンスの成果展 都市に棲むものたち:イ・ビョンチャン×リーロイ・ニュー」で同作品を再構成して展示した。さらに、モデルにペットボトルを素材にした衣装を着てもらい、冷泉荘の屋上や中洲の路上など市内数ヶ所で《福岡のエイリアン》の写真撮影を行った。



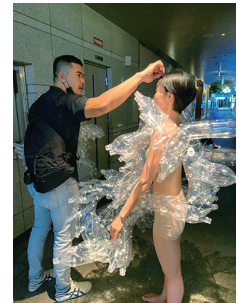
《心霊体プラスチック:バクナワ》《心霊体プラスチック:パレテ》
2022年、妙楽寺



《心霊体プラスチック:バクナワ》《心霊体プラスチック:パレテ》
2022年、福岡アジア美術館



《福岡のエイリアン》2022年



《福岡のエイリアン》撮影風景

②トーク

8月6日(土)

「滞在作家によるアーティスト・トーク Voices : ソウル×マニラ×福岡」

参加者: 一般51人

場 所: 交流スタジオ



アーティスト・トーク

10月8日(土)

「第16回アーティスト・イン・レジデンスの成果展 ギャラリー・トーク」

参加者: 一般54人

場 所: 7階ロビー(展示作品前)



ギャラリー・トーク

I 期レジデンス関連記事

- 2022. 9. 1 西日本新聞me「第16回 アーティスト・イン・レジデンスの成果展「都市に棲むものたち:イ・ビョンチャン×リーロイ・ニュー」」
- 2022. 9.22 Fukuoka Now「屋外アートとライトアップ@博多旧市街」
- 2022. 9.30 読売新聞朝刊「博多旧市街アート彩る」
- 2022. 9.30 福岡ふかぼりメディア ささっとー「アートが彩る博多旧市街 「Fan Week」に合わせ」
- 2022.10. 1 西日本新聞me「アーティスト・イン・レジデンス2022 第I期 イ・ビョンチャン ワークショップ「呼吸するビニール彫刻」」



第Ⅱ期

ゴン・ジェション／耿傑生
(台湾)[美術作家]

1989年生まれ、台湾・台北在住
滞在期間: 9月20日(火)～12月14日(水)

□主な活動

①作品制作

福岡アジア美術館の周辺地域がかつて海だったことに注目し、多角的にリサーチを行った。浴槽につかる行為や埋め立て地を、水の移動という現象を関連づけて捉え、浴槽を担いで市内を歩く映像、水とカッパをめぐるラジオ番組、干し人魚のオブジェなど制作した。それらをインスタレーション《水循環 ウォーターサイクル》として「第17回 アーティスト・イン・レジデンスの成果展2022 境界を縁どる一石、呼吸、埋立地」で、福岡アジア美術館、Artist Cafe Fukuoka、福岡市中央区の銭湯、本庄湯の3会場で発表した。



《水循環 ウォーターサイクル》
2022年、福岡アジア美術館



映像作品撮影風景



《水循環 ウォーターサイクル》2022年、Artist Cafe Fukuoka



《水循環 ウォーターサイクル》2022年、本庄湯

②トーク

10月10日(月)
「アーティスト・イン・レジデンスってなんだろう？」
参加者: 一般43人
場 所: Artist Cafe Fukuoka
スタジオ



トーク

11月17日(木)
「アーティスト・トーク」
参加者: 有田小学校114人
場 所: あじびホール



アーティスト・トーク

12月3日(土)
「第17回アーティスト・イン・レジデンスの成果展 ギャラリー・トーク」
参加者: 一般43人
場 所: Artist Cafe Fukuoka
スタジオ



ギャラリー・トーク



第Ⅱ期

大西康明
(大阪) [美術作家]

1979年生まれ、大阪府在住

滞在期間: 9月16日(金)～12月14日(水)

□主な活動

①作品制作

九州の河川や地形を調査し、人と川との関わりを含めて作品制作した。室見川の河原の石を銅箔で型取ったものを空間に配置し、表と裏、時間や空間を捉えるインスタレーション《境の石 室見川》を制作した。「第17回 アーティスト・イン・レジデンスの成果展 2022 境界を縁どる一石、呼吸、埋立地」において、Artist Cafe Fukuokaスタジオ、福岡アジア美術館の2会場で展示した。



《境の石 室見川》2022年、Artist Cafe Fukuoka



《境の石 室見川》2022年、福岡アジア美術館



制作風景

②ワークショップ

10月20日(木)～11月30日(水)

室見川の河原で集めた石を銅箔で覆って、木槌で叩いて型を取るワークショップを行った。

参加者: ボランティア20人

場 所: Artist Cafe Fukuoka
スタジオ



ワークショップ

③トーク

10月10日(月)

「アーティスト・イン・レジデンスってなんだろう？」

参加者: 一般43人

場 所: Artist Cafe
Fukuoka
スタジオ



トーク

12月3日(土)

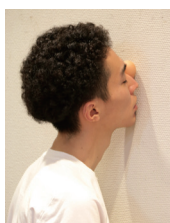
「第17回アーティスト・イン・レジデンスの成果展 ギャラリー・トーク」

参加者: 一般43人

場 所: Artist Cafe Fukuoka スタジオ



ギャラリー・トーク



第Ⅱ期

ソー・ソウエン
(福岡)[美術作家]

1995年生まれ、北九州市在住
滞在期間:9月16日(金)~12月14日(水)

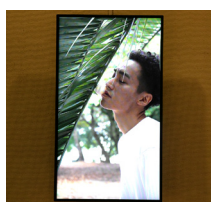
□主な活動

①作品制作

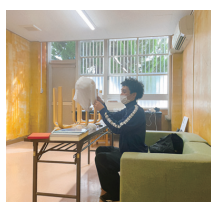
人の出生(個としての生の始まり)と深く関わりのある「お臍」と「呼吸」に着目した制作を行い、「わたし」や「わたしたち」の性質について考察した。「第17回アーティスト・イン・レジデンスの成果展 2022 境界を縁どる一石、呼吸、埋立地」では、映像インスタレーション《Bellybutton and Breathing—お臍と呼吸》をArtist Cafe Fukuokaスタジオに、《エグササイズ》を福岡アジア美術館に展示した。



《Bellybutton and Breathing—お臍と呼吸》2022年、Artist Cafe Fukuoka



《エグササイズ》
2022年、福岡アジア美術館



制作風景

②トーク

10月10日(月)
「アーティスト・イン・レジデンスってなんだろう？」
参加者:一般43人
場 所:Artist Cafe Fukuoka
スタジオ



トーク

12月3日(土)
「第17回アーティスト・イン・レジデンスの成果展 ギャラリー・トーク」
参加者:一般43人
場 所:Artist Cafe Fukuoka
スタジオ



ギャラリー・トーク

③パフォーマンス

12月4日(日)~6日(月)、11日(日)
《エグササイズ》
生卵と体を壁と体で挟み、開館から閉館までの10時間パフォーマンスを4日間行った。
参加者:2,932人
場 所:館内各所



パフォーマンス
《エグササイズ》

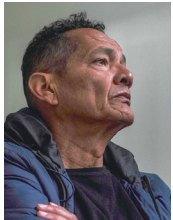
12月10日(土)
《Bellybutton and Breathing—お臍と呼吸》
静寂の中に呼吸が響く約15名の集団によるパフォーマンスを企画・演出した。
参加者:一般50人
場 所:あじびホール



パフォーマンス《Bellybutton and Breathing—お臍と呼吸》

Ⅱ期レジデンス関連記事

- 2022.10. 1 ウォーカープラス「博多灯明ウォッチング2022 博多リバレイン灯明 地上絵「カッパにんぎょ」」
- 2022.10. 3 西日本新聞朝刊「ソー・ソウエンさん 身体への関心作品に」
- 2022.10.20 dmenu ニュース「博多灯明ウォッチング2022 博多リバレイン灯明 地上絵「カッパにんぎょ」」
- 2022.12. 2 西日本新聞朝刊「境界を縁どる一石、呼吸、埋立地」
- 2022.12. 3 西日本新聞朝刊「国内外の3美術家「境界を縁どる」展」
- 2022.12. 7 西日本新聞夕刊「滞在制作のアート作品展示」
- 2022.12. 8 西日本新聞朝刊「分断の時代 曖昧な境界を縁どり」
- 2022.10.11 LOVE FM スイッチオン!DAYTIME「福岡アジア美術館 アーティスト・イン・レジデンス 学芸課長 山口〇〇」
- 2022.10.25 LOVE FM スイッチオン!DAYTIME「福岡アジア美術館 アーティスト・イン・レジデンス ソー・ソウエンさん」
- 2022.10.30 LOVE FM 明治産業PRESENTS Our Culture, Our View「FAAM AIR 福岡アジア美術館 アーティスト・イン・レジデンス スタジオ」
- 2022.11. 8 LOVE FM スイッチオン!DAYTIME「福岡アジア美術館 アーティスト・イン・レジデンス ゴン・ジェションさん」
- 2022.11.22 LOVE FM スイッチオン!DAYTIME「福岡アジア美術館 アーティスト・イン・レジデンス 大西康明さん」
- 2022.12. 2 美術手帖「3年ぶりの再開。福岡アジア美術館のAIR成果展「境界を縁どる一石、呼吸、埋立地」が開催へ」
- 2022.12. 6 LOVE FM スイッチオン!DAYTIME「福岡アジア美術館 アーティスト・イン・レジデンス Team Aperto 月田尚子さん」



第Ⅲ期

ドクペルー(ホセ・バラド
とヒメナ・モーラ)
(ペルー)[美術作家]

2003年グループ結成、ペルー、リマ
滞在期間:2023年1月10日(火)~3月10日(金)

□主な活動

①作品制作

ドキュメンタリー映像制作ワークショップを開催し、実際に参加者が短編ドキュメンタリーを制作することをとおして、ドクペルーのこれまでの経験やその方法論を、映画やメディア研究、視覚芸術を学ぶ参加者に伝えた。さらに、うきは市に数日間滞在して松野牧場や土地の人々の営みを撮影し、ドキュメンタリー映画「緑よ、私の愛する緑」を制作した。



「緑よ、私の愛する緑」2022年



「緑よ、私の愛する緑」撮影風景

②ワークショップ

1月17日(火)~2月25日(日)
映像制作ワークショップ「記憶を編む」
参加者:一般 23人
場 所:Artist Cafe Fukuoka
スタジオ



ワークショップ

③トーク

1月22日(日)

アーティスト・トーク「ドクペルー×下寺孝典×長野櫻子ー福岡と出会う、歩く、聴く」

参加者:一般38人

場 所:Artist Cafe Fukuoka スタジオ



アーティスト・トーク

2月5日(日)

ドクペルー ドキュメンタリー上映+トーク「DOCUPERU SCREENING」

参加者:一般 57人

場 所:あじびホール



ドキュメンタリー上映
「DOCUPERU SCREENING」

2月25日(土)

上映会&トーク「記憶を編む」

参加者:一般104人

場 所:あじびホール



上映会&トーク「記憶を編む」



第Ⅲ期

下寺孝典(タイヤ)
(大阪) [美術作家]

1994年生まれ、大阪市在住

滞在期間: 2023年1月10日(火)～3月10日(金)

□主な活動

①作品制作

アジアの屋台研究の一貫として、福岡の屋台をリサーチし、屋台の下に集う人々のふるまいを観察、記録した。福岡では赤城製作所に通って制作した屋台を中心に、アジアの屋台の屋根のインスタレーション《動く屋根》を福岡アジア美術館に、《屋台リサーチ・プロジェクト[福岡・アジア編]アーカイブルーム》をArtist Cafe Fukuokaに展示した。



《動く屋根》2022年、福岡アジア美術館



《屋台リサーチ・プロジェクト[福岡・アジア編]アーカイブルーム》
2022年、Artist Cafe Fukuoka



制作風景

②ワークショップ

1月31日(火)

「屋台の屋根を彩ろう」

参加者: 名島小学校42人

場 所: 交流スタジオ



ワークショップ

③トーク

1月22日(日)

アーティスト・トーク「ドクペ
ル×下寺孝典×長野櫻子—
福岡と出会う、歩く、聴く」

参加者: 一般38人

場 所: Artist Cafe Fukuoka
スタジオ



アーティスト・トーク

2月25日(土)

トーク&パーティー「動く屋根
の下で」

参加者: 一般98人

場 所: アートカフェ



トーク&パーティー

3月5日(日)

クロージング・トーク・イベント

「屋根の可能性/仮設の可能性」

ゲスト: 建築家・岩元真明氏(九
州大学芸術工学研究院 環境設
計部門、ICADA)

参加者: 一般81人

場 所: アートカフェ



クロージング・トーク



第Ⅲ期

長野 櫻子
(福岡)[美術作家]

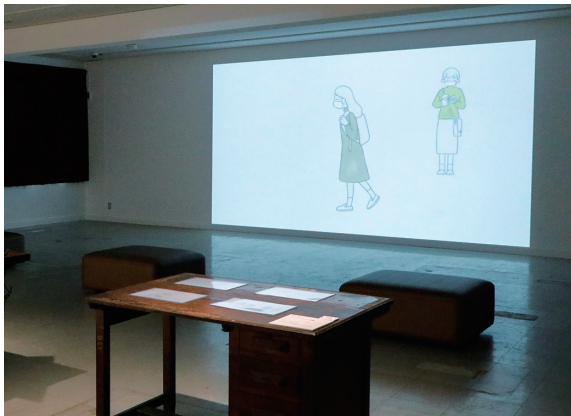
1989年生まれ、福岡市在住

滞在期間:2023年1月10日(火)~3月10日(金)

□主な活動

①作品制作

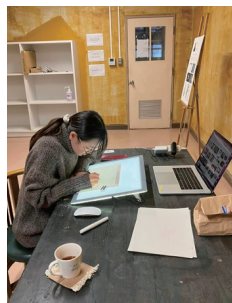
新型コロナウイルスの影響により社会から孤立したさまざまな世代の人たちにインタビューを行い、それにもとづいた新作のドキュメンタリー・アニメーションを制作した。《それぞれの日々》[予告編]をArtist Cafe Fukuokaでその制作プロセスとともに上映し、原画を福岡アジア美術館に展示した。



《それぞれの日々》[予告編]2022年、Artist Cafe Fukuoka



《それぞれの日々》(原画)
2022年、福岡アジア美術館



制作風景

②トーク

1月22日(日)

アーティスト・トーク「ドクペ
ルー×下寺孝典×長野櫻子ー
福岡と出会う、歩く、聴く」

参加者:一般38人

場 所:Artist Cafe Fukuoka
スタジオ



アーティスト・トーク

2月25日(土)

上映会&トーク「記憶と孤独と
短編アニメーション」

ゲスト:インディペンデント・
キュレーター原田真紀

参加者:一般 58人

場 所:あじびホール



上映会&トーク

Ⅲ期レジデンス関連記事

- 2023. 1.24 LOVE FM スイッチオン!DAYTIME 「福岡アジア美術
館アーティスト・イン・レジデンス 長野櫻子さん」
- 2023. 2. 7 LOVE FM スイッチオン!DAYTIME 「福岡アジア美術
館アーティスト・イン・レジデンス 下寺孝典さん」
- 2023. 2.14 LOVE FM スイッチオン!DAYTIME 「福岡アジア美術
館アーティスト・イン・レジデンス Team Aperto 月
田尚子さん」
- 2023. 2.16 西日本新聞朝刊「うきは市の風景を短編映像に ペ
ルーの団体が牧場や農園で撮影 25日から福岡市で
上映」
- 2023. 2.25 西日本新聞朝刊「福岡で生まれた作品」福岡アジア美術
館とアーティストカフェフクオカで展示」2023年1月
10日 LOVE FM スイッチオン! DAYTIME 「福岡アジ
ア美術館アーティスト・イン・レジデンス 学芸課 中
尾智路さん」
- 2023. 2.28 LOVE FM スイッチオン!DAYTIME 「福岡アジア美術
館アーティスト・イン・レジデンス Team Aperto 松
尾美紀さん、屋台研究家 下寺孝典さん」
- 2023. 3.14 LOVE FM スイッチオン!DAYTIME 「福岡アジア美術
館アーティスト・イン・レジデンスペルーの映像ユニット
DOCUPERU」
- 2023. 3.28 LOVE FM スイッチオン!DAYTIME 「福岡アジア美術
館アーティスト・イン・レジデンス Team Aperto 宮
本初音さん」

他の機関から助成等を受けて自費で福岡に滞在し、作品制作や調査研究を行うことを希望するアジアの美術作家やアジア美術の研究者・学芸員に対して、制作や調査・研究活動を支援するもの。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和1年度以降、海外から美術作家等の招聘ができなかったが、令和4年度に再開した。



チェン・イェン・ペン
(マレーシア) [美術作家]

1982年生まれ、セランゴール(マレーシア)在住

滞在期間: 2023年2月7日(火)～3月8日(水)

シンガポールのユナイテッド・オーバーシーズ銀行の助成で滞在。

□主な活動

①調査活動

和紙作りの道具や技術、制作工程に強い関心があったことから、今回の福岡滞在では秋月、筑後、八女にて紙すきや藍染体験のほか、岐阜県美濃市や富山県を訪れ、和紙や和紙を制作する道具の一つである簾桁の職人の工房を見学するなど、熱心に調査を行った。



八女での紙すき体験



美濃の紙すき見学

②報告会とワークショップ

3月6日(月)

「チェン・イェン・ペンによるリサーチ報告会&ちぎり絵ワークショップ」

リサーチの報告会を行い、その後参加者とともにマレーシアから持参した自作の紙と美濃市で購入した和紙を用いてちぎり絵体験のワークショップを開催した。

参加者: 一般13人

場 所: アートカフェ



筑後での藍染体験



報告会&ワークショップの様子

博多リバレイン灯明

(「第26回博多灯明ウォッチング2022」同時開催)

10月22日(土)18:00~21:00

場 所:博多リバレイン フェスタスクエア

博多リバレインが毎年10月に開催している「博多リバレイン灯明」は、令和2年度以降新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止されていたが令和4年度に再開。交流事業で滞在していたゴン・ジエション(台湾)がデザイン提供し、参加した。海とともに発展してきた博多の街と、そこに伝えられた物語をテーマに創作した「かっぱにんぎょ」の地上絵を描いた。



博多リバレイン灯明でのかっぱにんぎょの灯明



制作風景

交流事業における招聘事業および受入支援事業の過去の取り組みや、進行中のプログラムの様子をより多くの人に伝えるために、「あじびレジデンスの部屋」と題した記録展をアジアギャラリーで実施。

第1期 バナナの葉っぱ作品からSDGsを考えるーチャクリット・チムノーク



第1期 「バナナの葉っぱ作品からSDGsを考えるーチャクリット・チムノーク」展示風景

2022年4月7日(木)～9月6日(火)

タイの社会では、バナナの葉は昔から様々な用途に使われてきた。バナナの葉を大胆にファッションに取り入れたチャクリット・チムノーク(「第3回福岡アジア美術トリエンナーレ2005」参加作家)の作品と滞在時の活動から、私たちの社会とSDGsについて考えてみる展示を行った。

関連事業

◇オンライン・ワークショップ

「バナナの葉っぱでクラトン(灯明)を作ろう！」

展覧会の関連企画として、チャクリット・チムノークによるオンライン・ワークショップを実施した。タイでは正月や秋に、バナナの葉で作ったクラトンという灯明の祭りが各地で開催されており、ワークショップではSDGsをテーマに、親子でクラトン制作を行った。バナナの葉と幹は大川市にある大川温泉から提供いただき、美術館とチェンマイをオンラインで結んで、SDGsのトークを聞いた後、2拠点で同時に制作を行い、最後にクラトンの鑑賞会を実施した。

日 時:8月20日(土)11:00～、15:00～

参加者:子どもと保護者29人(1回目:保護者9人、子ども9人、2回目:保護者5人、子ども6人)

会 場:交流スタジオ、チェンマイ大学



第1期 オンライン・ワークショップ
「バナナの葉っぱでクラトン(灯明)を作ろう！」

第2期 踊りませんか？ーチョン・ヨンドゥ



第2期 「踊りませんか？ーチョン・ヨンドゥ」展示風景

2022年9月15日(木)～12月25日(日)

人々の生活や夢などに取材し、心温まる作品を制作してきた韓国を代表する美術作家のひとりチョン・ヨンドゥ。20年前、2002年に当館に滞在した時は、美術館に楽しげに踊る人々がいる華やかなダンスパーティ会場を作り出した。その後の世界的な活躍につづる福岡滞在中の制作活動を、残された記録で迎った。

第3期 アバ・カバール(元気ですか)？ ーニンディティオ・アディプルノモ



第3期 「アバ・カバール(元気ですか)？
ーニンディティオ・アディプルノモ」展示風景

2023年1月2日(月)～3月21日(火)

今や世界から注目を浴びるインドネシア現代美術におけるキーパーソン、ニンディティオ・アディプルノモ(1961-)。2002年「第2回福岡アジア美術トリエンナーレ2002 (FT2)」の参加作家として3週間、福岡に滞在した。本展では、当時の制作記録や資料、所蔵作品からその活動を紹介した。

関連記事

あじびレジデンスの部屋 第1期

- 2022. 4 Walkerplus(WEB)あじびレジデンスの部屋 第1期「バナナの葉っぱ作品からSDGsを考える チャクリット・チムノーク」
- 2022. 4 西日本新聞me(WEB)

あじびレジデンスの部屋 第2期

- 2022. 8 アジアンパーティSCHEDULE

教育普及事業

◎団体見学

九州産業大学	25人	4月24日
多度津町立多度津中学校	211人	4月26日
福岡県立博多青松高等学校	237人	5月13日
大村美容ファッション専門学校	64人	5月16日
ASO高等部	63人	5月16日
九州高等学校造形芸術科	73人	5月20日
ASOポップカルチャー専門学校	46人	6月10日
五灯館大学校	22人	6月16日
ASOポップカルチャー専門学校	21人	6月20日
九州産業大学	26人	6月26日
ASOポップカルチャー専門学校	57人	6月27日
福岡市教育委員会適応指導教室「すまいる学級」		
	9人	7月 1日
北九州市立戸畑高等専修学校	38人	7月 4日
福岡市立馬出小学校	17人	7月 5日
九州産業大学	19人	7月 9日
筑紫女学園大学	39人	7月16日
明光学園高等学校	10人	8月 9日
九州大学人文科学府	12人	8月13日
福岡市立博多小学校	89人	9月29日
福岡市立博多小学校	92人	10月 4日
北九州市立志徳中学校	11人	10月21日
久留米市立津福小学校	115人	11月17日
福岡市立有田小学校	114人	11月17日
ASOポップカルチャー専門学校	84人	11月18日
静岡県立静岡東高等学校	124人	12月 6日
九州産業大学造形短期大学部	22人	12月 6日
福岡市立南当仁小学校	134人	12月 9日
北九州市立田原中学校	30人	1月27日
福岡市立名島小学校	50人	1月31日
北九州市立湯川中学校	63人	3月 2日

◎博物館実習

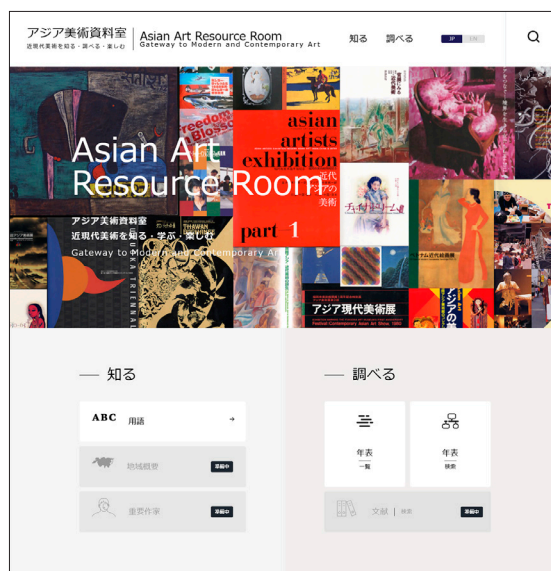
(6月から10月までの中で10日間程度)

佐賀大学	1人
西南学院大学	1人
福岡大学	1人

◎アジア美術学習サイト製作

アジア近現代美術を学ぶための和英バイリンガルのウェブサイト「アジア美術資料室」を3月6日に開設。当初はアジア美術特有の用語解説と検索可能な年表から成り、次年度以後にコンテンツを拡充する。

<https://asianart-gateway.jp/>



ミュージアム施策事業

1 福岡ミュージアムウィーク

「出会いの場」「知識の場」「発見の場」としての美術館・博物館の役割をより多くの人々に知ってもらうため、5月18日の「国際博物館の日」を記念して福岡市内の19施設(福岡市博物館、福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡県立美術館、福岡市埋蔵文化財センター、「博多町家」ふるさと館、はかた伝統工芸館、王貞治ベースボールミュージアムSupported by リポビタンD、九州大学総合研究博物館、九州産業大学美術館、西南学院大学博物館、能古博物館、福岡市動植物園、福岡市文学館、ハクハク、高取焼本家味楽窯美術館、福岡女子大学美術館、福岡市科学館、チームラボフォレスト福岡ーSBI証券)が連携し、5月14日から22日まで様々な催しを開催した。

□トークショー／映画上映会

「文章を書き、映画をつくるストーリーテラーになるまで」イギリス・ボラ監督トーク&『記憶の戦争』上映会

日時・場所:5月14日(土)

16:00～17:30 監督トーク@アートカフェ(7階)

18:00～19:30 映画上映@あじびホール(8階)

講師:イギリス・ボラ監督

参加者:監督トーク 89人／上映会 83人



イギリス・ボラ監督トークショー

□ギャラリーツアー

5月16日(月)、17日(火)、19日(木)、20日(金)14:00～14:40

参加者:一般25人

場所:アジアギャラリー

□バックヤードツアー

5月15日(日)、22日(日) 13:00～14:00

参加者:一般37人

場所:バックヤード

□アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ

5月14日(土)、15日(日)、21日(土)、22日(日)

①11:30～12:00 ②13:00～13:30

参加者:未就学児と保護者40人

□その他

・アジアギャラリー観覧料無料

・参加館を巡るデジタル・スタンプラリー



ギャラリーツアー

関連記事

2022. 5. 1 福岡市政だより

「文章を書き、映画をつくるストーリーテラーになるまで」イギリス・ボラ監督トーク&『記憶の戦争』上映会～

2022. 5. 1 Walkerplus

イギリス・ボラ監督トーク&『記憶の戦争』上映会

関連放送

2022. 5.13 NHK福岡「ロクいち! 福岡」

「戦争をどう記憶するか 福岡在住 映画監督の言葉」

2 博多旧市街フェスティバル(FaN Week)

会 期:2022年9月30日(金)～10月3日(月)

会 場:東長寺、櫛田神社、龍宮寺、妙楽寺、冷泉公園

主 催:福岡市

開催日数:4日間

観覧者数:26,045人

参加作家:5組

(イ・ビョンチャン、リーロイ・ニュー、ムルヤナ、木村剛士、栗真由美)

歴史を感じる寺社でアート作品を展示し、ライトアップする屋外アートイベント「博多旧市街フェスティバル(FaN Week)」を実施。令和2年度以降新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止されていたが3年ぶりに開催。博多旧市街エリアを舞台に、国内外の5作家が、屋外ならではの大型作品や作家が福岡に滞在し制作した作品を展示した。

ポスター／B2 プロジェクトワークス

チラシ／A4 プロジェクトワークス

ガイドブック／A3折たたみ

プロジェクトワークス

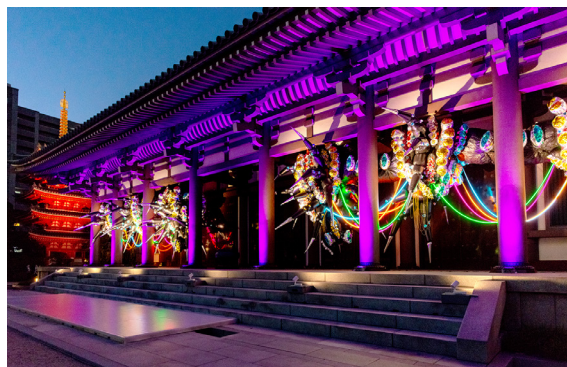
関連記事

2022. 9.15 市政だより「屋外アートとライトアップ 博多旧市街」

2022. 9.15 博多の魅力 「博多旧市街エリア 屋外展示×ライトアップ」

2022. 9.26 よかなび「FaN Week 「博多旧市街エリア」(9/30～10/10)の見どころをご紹介します！」

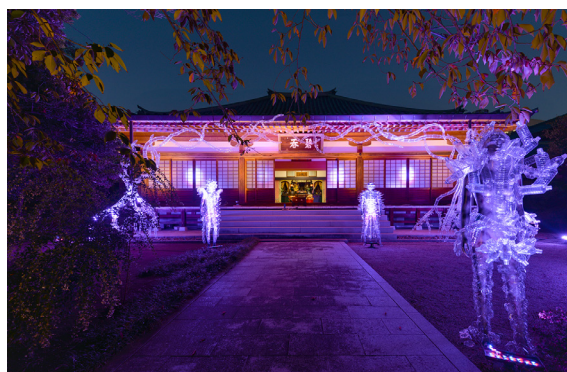
2022. 9.30 読売新聞(朝)「博多旧市街 アート彩る」



イ・ビョンチャン《生物／CREATURE》2022年、東長寺



ムルヤナ《サガラ》2021年、龍宮寺



リーロイ・ニュー《心霊体プラスチック:パレテ》
《心霊体プラスチック:バクナワ》2022年、妙楽寺



栗真由美《ビルズクラウド》2022年、櫛田神社



木村剛士《見続ける彫刻》2022年、冷泉公園

ボランティア事業

今年度のボランティア活動は、新型コロナウイルス感染症の制限緩和にあわせて安全面に留意しながら活動を行った。

対面の来館者サービスについては、施設の案内および作品解説は、学校の団体申込みと特別企画展の関連イベントに限定して行い、長らく中断していた第5期案内・解説ボランティアの実地研修を再開した。アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせについては、通常のイベントに加えて特別企画展の館外イベントを実施するなど積極的に活動を行い、交流ボランティアも3年ぶりに再開したレジデンス事業でサポート活動を行った。

隔年で実施してきたボランティア登録の更新確認は、昨年から1年延期して今年度末に実施した。

活動内容およびグループ別のべ人数（ひとりが複数のグループで活動可）

2023年3月現在

活動区分	活動内容	更新前	更新後
案内・解説	アジアギャラリーの作品解説や施設案内	69	69
図書資料	アートカフェの書架整理および蔵書点検	25	31
アーカイブ	新聞・雑誌掲載記事のスクラップと整理	40	41
広報	美術館広報誌や特別企画展などの印刷物の発送	20	21
読み聞かせ	絵本や紙芝居の読み聞かせ	32	32
活動支援	ボランティア向けブログの作成やメール配信、研修や親睦会の企画と実施	15	15
交流	滞在美術作家・研究者の活動や地域交流イベントなどのサポート	181	150
のべ人数		382	359
ボランティア登録者数		181	150

活動

【案内・解説】

「あじびの良さを伝えようーリアル実施をしよう！トークのスキルアップを図る」を目標に活動を行った。開館日に毎日実施しているアジアギャラリーの案内時間をこれまでの13:00～16:00から15:00までに変更することとした(再開は次年度から)。ミーティングの開催日を毎月の最終土曜日から第4土曜日の11:00～に変更し、9月から第5期メンバーもミーティングに加わった。申し込みがあった学校の団体見学のみ案内を行ったほか「エモーションナル・アジア」展ではボランティアによるギャラリーツアーを4回実施した。

【図書資料】

年間目標としていた「エモーションナル・アジア」展にあわせた、アートカフェスペースでの関連図書の紹介や、ボランティアが推薦するアートカフェの図書をフェイスブックで紹介するなどのPR活動も積極的に行ったほか、「アートカフェの本の整理を頑張る」を目標に、書架整理、面陳パネルの補強製作、蔵書点検などを行った。

【アーカイブ】

「月例活動日に参加しよう」を目標に、メンバーと一緒に確認し合いながら新聞、雑誌スクラップなどの活動を行う時間を増やすため、月例ミーティングの日を「月例活動日」として活動の推進を図った。「できる人ができる事をできるタイミングでやっていこう」という思いで互いにフォローし合いながら活動した。

【広報】

「みんなで楽しく広報活動しよう(サブタイトル:①身近な人に広報しよう、②広報活動を再開しよう)」を目標に活動を行った。発送作業の実働人数が少なかったため、他のグループからもメンバーを募る内部募集を行い、広報物の発送及び配布活動を行った。

【読み聞かせ】

昨年と同じく「初心にかえって基本を大切に」を目標に活動を行った。キッズコーナーでの通常の読み聞かせイベントに加えて、特別企画展(「エモーションナル・アジア」展)のサテライト会場となった福岡ポート施設内で読み聞かせイベントを行った。また、アジアの絵本をアジアの言語と日本語の多言語で読み聞かせる試みを、韓国、インドの絵本で行った。

【交流】

3年ぶりに再開したレジデンス事業のために来館したアーティストのサポートを行った。第1期はリーロイ・ニュー(フィリピン)の作品の材料である使用済みのペットボトルの収集に協力し、第2期は、大西康明(日本)の作品制作に加わってオブジェ制作を行ったほか、地域交流イベントの灯明ウォッチングで、ゴン・ジエション(台湾)の地上絵制作のサポートも行った。

【活動支援】

「絆:ボランティアをつなぐー新しいコミュニケーションの創造」を目標に活動を行った。2年振り連絡当番ミーティングを、3年振りにレジデンス歓迎会、ボランティア交流会を対面で開催した。

ブログの取材として柴田新総館長にインタビューを行い、ブログの見方などの研修会、ブログの縮小版印刷の設置などを行った。

た。館長による研修会の企画も行った。

《活動支援主催によるボランティア催事》

◇連絡当番ミーティング

2022年5月28日(土)、8月28日(日)、11月19日(土)

◇レジデンス歓迎会

第1期:2022年8月6日(土) 場所:アートカフェ

第2期:10月16日(日) 場所:Artist Cafe Fukuoka

第3期:2023年2月4日(土) 場所:Artist Cafe Fukuoka

◇ボランティア交流会

2023年1月28日(土) 場所:会議室

◇ボランティア研修会

「国境と染織」(講師:岩永悦子館長)

2023年2月18日(土) 場所:あじびホール

□その他

◇宮津大輔氏によるボランティア向けギャラリートーク(エモーションナル・アジア展)

2022年9月15日(木) 場所:アジアギャラリー

◇受入支援アーティスト、チェン・イエン・ベンによるボランティア向けトーク&ワークショップ

2023年3月5日(日) 場所:アートカフェ

◇令和4年度ボランティア総会

2023年3月26日(日) 場所:あじびホール



宮津大輔氏による
ボランティア向けギャラリートーク



図書ボランティアの活動風景



ボランティア研修会

広報活動

あじびニュース



Vol.87 2022.4.1発行

- 2022年度展覧会&レジデンス・スケジュール
- 「ヒンドゥーの神々の物語」展レビュー
- 大石始「チューニングし合うアジアのいま」



Vol.88 2022.9.1発行

- 2022年度展覧会&レジデンス・スケジュール
- Fukuoka Art Next
- アーティスト・イン・レジデンス事業って何？
- エモーションル・アジア展開催記念インタビュー—宮津大輔氏
- 開催中の展覧会



Vol.89 2023.1.1発行

- 福岡アジア美術館 コレクション展
- オリジナルグッズ「ヒンドゥーの神様相関図」A4クリアファイル紹介
- あなたの故郷や国では新年、どう過ごしてる？
- Artist in Residence Program at Fukuoka Asian Art Museum

Vol.87

規 格 A5 16ページ 企画・編集・発行 福岡アジア美術館 デザイン 堺由加子(福岡アジア美術館)
翻 訳 江上賢一郎(福岡アジア美術館) 印 刷 株式会社西日本新聞印刷

Vol.88

規 格 A4変形 見開き8ページ 企画・編集・発行 福岡アジア美術館 編集・執筆 瀬口賢一(コモン編集室)
デザイン 長末香織 印 刷 大同印刷株式会社

Vol.89

規 格 A4変形 蛇腹折 企画・編集・発行 福岡アジア美術館 編集・執筆 瀬口賢一(コモン編集室)
デザイン 長末香織 印 刷 株式会社四ヶ所

ホームページ

<https://faam.city.fukuoka.lg.jp/>

年度PV数／約146万5千回

年度ユーザー数／約47万9千人

コンテンツ

美術館について／基本理念、活動案内、施設概要、美術館ができるまで、アジア美術館の歩み

コレクション／収集方針、主な作品、所蔵品検索

美術館だより／最新トピックス、バックナンバー

利用案内／利用案内、交通案内、館内マップ、ミュージアムカフェ、団体観覧

出版物・グッズ／出版物・グッズ、展覧会図録ほか、広報誌、オリジナルグッズ、PDFデータ(事業報告書ほか)

展覧会案内／展覧会最新情報、スケジュール

イベント案内／最新のイベント、スケジュール

レジデンス事業／今年度の滞在者、過去の滞在者、事業報告書、募集要項

アーカイブ／アジア美術資料室

主要SNSアカウントインサイト (令和4年度末時点)

Facebook

<https://www.facebook.com/fukuokaasianartmuseum/>

4,372フォロワー／年度間125投稿／年度リーチ数:191,400(人)

Twitter

<https://twitter.com/faamajibi>

11,311フォロワー／年度間194投稿／年度閲覧数:777,625(回)

Instagram

https://www.instagram.com/fukuoka_asian_art_museum/

5,041フォロワー／年度間77投稿／年度リーチ数:23,400(人)

ブログ

<http://faamajibi.blogspot.com/>

年度間2投稿／年度閲覧数:237回



所 藏 作 品

新所蔵作品数 令和4年度

	購入	寄贈	合計
絵画	1	47	48
彫刻	0	59	59
版画	0	331	331
研究資料	0	4	4
合計	1	441	442

※作品データは、以下の順で記載
作家名(拠点)
タイトル
制作年
ジャンル 素材
サイズ(cm)

新所蔵作品一覧

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1 ヤン・サンラン(楊三郎)(台湾)
南台風光
1940
平面／油彩・画布
79.6×92.0 | 9 アー・グー(阿鵠)(中国)
小鏡
1992
版画／木版・紙
45.4×41.0(寄贈) | 17 ジャン・ジン(張菁)(中国)
心の変化-4
2005
版画／銅版・紙
50.1×24.3(寄贈) | 24 チャオ・シアオドン(超嘯東)
(中国)
この土地がこの人を作った-2
1991
版画／木版・紙
40.1×40.1(寄贈) |
| 2 塩月桃甫(日本)
ランピ灯台(仮題)
1935年頃
平面／油彩・画布
37.8×45.5(寄贈) | 10 ジアン・ミー(江枚)(中国)
波の伝説
1984
版画／木版・紙
27.9×42.0(寄贈) | 18 倉石(中国)
蘇州の舟
1994
版画／銅版・紙
37.3×38.5(寄贈) | 25 チャオ・シアオドン(超嘯東)
(中国)
この土地がこの人を作った-3
1991
版画／木版・紙
40.0×39.7(寄贈) |
| 3 石川欽一郎(日本)
台湾風景
1927年頃
研究資料／油彩・画布(薄い綿布)
45.2×53.3(寄贈) | 11 フー・ディンユ(胡定宇)(中国)
八仙過海
1986
版画／木版・紙
44.3×44.0(寄贈) | 19 グアン・レンカン(関仁康)(中国)
よだれの味
1986
版画／紙版・紙
33.1×34.3(寄贈) | 26 ジョウ・イーガン(周毅剛)(中国)
年末の腸詰作り
1990
版画／石膏版・紙
59.9×70.8(寄贈) |
| 4 モハメド・カムルル・ハッサン・カ
ロン(バングラデシュ)
蝕(エクリプス)
1979
平面／油彩・画布
88.5×116.9(寄贈) | 12 シエ・チャンイー(鄒昌義)(中国)
チベット族の少女
1986
版画／木版・紙
20.6×17.2(寄贈) | 20 グアン・レンチエン(関仁謙)(中
国)
今日はいい日
制作年不詳
版画／木版・紙
81.7×62.7(寄贈) | 27 ジョウ・イーガン(周毅剛)(中国)
農家
1990
版画／紙版・紙
37.9×53.6(寄贈) |
| 5 マイ・ロン(ベトナム)
チャウ・バン
1992
平面／水彩・絹(紙で裏打ち)
47.5×67.0(寄贈) | 13 シエ・チャンイー(鄒昌義)(中国)
川東の農家
1987
版画／木版・紙
55.1×36.8(寄贈) | 21 グアン・レンチエン(関仁謙)(中
国)
和睦平安
1990
版画／粉印・紙
50.6×57.0(寄贈) | 28 ルオ・ミンレン(羅明仁)(中国)
木工所
制作年不詳
版画／紙版・紙
39.6×49.0(寄贈) |
| 6 シュ・クアン(徐匡)(中国)
仲間
1979
版画／木版・紙
66.4×52.7(寄贈) | 14 シエ・チャンイー(鄒昌義)(中国)
トン族の木の家
1992
版画／木版・紙
55.3×41.7(寄贈) | 22 グアン・レンチエン(関仁謙)(中
国)
川南の八月
1990
版画／粉印・紙
49.8×52.2(寄贈) | 29 ルオ・ミンレン(羅明仁)(中国)
豚をさばく季節
制作年不詳
版画／石膏版・紙
60.1×80.0(寄贈) |
| 7 シュ・クアン(徐匡)(中国)
山あいの小路
1984
版画／木版・紙
73.6×91.9(寄贈) | 15 ジャン・ジン(張菁)(中国)
心の変化-2
2005
版画／銅版・紙
50.1×24.4(寄贈) | 23 チャオ・シアオドン(超嘯東)
(中国)
この土地がこの人を作った-1
1991
版画／木版・紙
39.7×39.7(寄贈) | 30 ヤン・ミン(楊明)(中国)
正午
1990
版画／木版・紙
30.5×38.7(寄贈) |
| 8 アー・グー(阿鵠)(中国)
鳩
1984
版画／木版・紙
69.5×36.5(寄贈) | 16 ジャン・ジン(張菁)(中国)
心の変化-3
2005
版画／銅版・紙
50.1×24.63(寄贈) | | 31 ワン・ミンリー(万明礼)(中国)
魚とりの竹かご
1990
版画／紙版・紙
68.0×64.8(寄贈) |



ヤン・サンラン(楊三郎)(台湾)
《南台風光》
1940年

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 32 リウ・ドージ(劉德智)(中国)
嫁ぐ
1990
版画／紙版粉印・布
78.4×67.6(寄贈) | 40 作者不詳(インド)
踊るシヴァ(ナタラージャ)
19世紀中頃
平面／水彩・雲母
14.4×10.0(寄贈) | 48 作者不詳(インド)
踊るクリシュナ
19世紀中頃
平面／水彩・雲母
14.3×10.3(寄贈) | 56 作者不詳(インド)
クールマ
19世紀中頃
平面／水彩・雲母
14.4×10.2(寄贈) |
| 33 ホアン・シャオジュン(黃曉君)(中国)
鴨を飼う
制作年不詳
版画／拓印・紙
58.2×67.2(寄贈) | 41 作者不詳(インド)
ラーマとハヌマーン
19世紀中頃
平面／水彩・雲母
14.3×10.0(寄贈) | 49 作者不詳(インド)
マツヤ
19世紀中頃
平面／水彩・雲母
14.7×10.2(寄贈) | 57 作者不詳(インド)
ラーマ
19世紀中頃
平面／水彩・雲母
14.7×10.2(寄贈) |
| 34 イン・ジーチュン(殷智群)(中国)
ミャオ族の風俗-7 厄除けの面
1990/92
版画／木版・紙
58.9×48.0(寄贈) | 42 作者不詳(インド)
葉草の山を運ぶハヌマーン
19世紀中頃
平面／水彩・雲母
14.2×10.1(寄贈) | 50 作者不詳(インド)
ナラシンハ(人獅子)
19世紀中頃
平面／水彩・雲母
14.7×10.1(寄贈) | 58 作者不詳(インド)
ヴァラーハ
19世紀中頃
平面／水彩・雲母
14.7×10.2(寄贈) |
| 35 シン・チャンジン(幸長清)(中国)
仔羊
制作年不詳
版画／木版・紙
46.3×64.0(寄贈) | 43 作者不詳(インド)
クールマ
19世紀中頃
平面／水彩・雲母
14.7×10.0(寄贈) | 51 作者不詳(インド)
棍棒を持つマドゥライの神
19世紀中頃
平面／水彩・雲母
14.4×10.1(寄贈) | 59 作者不詳(インド)
雲母の着替えカード
19世紀中頃
平面／雲母絵23枚、背景2枚、収納箱
10.3×7.3(寄贈) |
| 36 リウ・トン(劉彤)(中国)
故郷の村
制作年不詳
版画／紙版・紙
78.2×64.3(寄贈) | 44 作者不詳(インド)
踊るクリシュナ
19世紀中頃
平面／水彩・雲母
14.6×10.1(寄贈) | 52 作者不詳(インド)
ラーマ
19世紀中頃
平面／水彩・雲母
14.7×10.2(寄贈) | 60 シーター・デーヴィー(インド)
ガネーシャ
20世紀後半
平面／水彩・紙
56.0×44.6(寄贈) |
| 37 作者不詳(インド)
ヴィシュヌ
19世紀中頃
平面／水彩・雲母
14.6×10.2(寄贈) | 45 作者不詳(インド)
バラシュラーマ
19世紀中頃
平面／水彩・雲母
14.7×10.1(寄贈) | 53 作者不詳(インド)
ブアーマナ(矮人)
19世紀中頃
平面／水彩・雲母
14.4×10.1(寄贈) | 61 ヴイドゥヤ・デーヴィー(インド)
魔神ラーフと太陽
20世紀末
平面／水彩・紙
54.6×75.8(寄贈) |
| 38 作者不詳(インド)
ドゥルガー
19世紀中頃
平面／水彩・雲母
14.3×10.1(寄贈) | 46 作者不詳(インド)
ヴァラーハ
19世紀中頃
平面／水彩・雲母
14.6×10.1(寄贈) | 54 作者不詳(インド)
ジャタユ
19世紀中頃
平面／水彩・雲母
14.4×10.2(寄贈) | 62 作者不詳(インド)
ガネーシャ
20世紀末
平面／水彩・紙
75.8×55.6(寄贈) |
| 39 作者不詳(インド)
ガルダに乗るヴィシュヌ
19世紀中頃
平面／水彩・雲母
14.2×10.0(寄贈) | 47 作者不詳(インド)
バラシュラーマ
19世紀中頃
平面／水彩・雲母
14.7×10.2(寄贈) | 55 作者不詳(インド)
ハヌマーンとラーヴァナの家来との戦い
19世紀中頃
平面／水彩・雲母
10.1×14.4(寄贈) | 63 作者不詳(インド)
ドゥルガーとカーリー
20世紀末
平面／水彩・紙
56.5×76.9(寄贈) |

64	作者不詳(インド) 孔雀 20世紀末 平面／水彩・紙 56.0×76.3(寄贈)	79	作者不詳(インド) ナーガの上に横たわるヴィシュヌ 20世紀 版画／ステンシル・紙 66.3×55.9(寄贈)	94	作者不詳(インド) 不詳 19世紀後半～20世紀前半 版画／木版画・紙 15.7×14.7(寄贈)	109	作者不詳(インド) 『ペリヤ・ブラーナム』挿絵 20世紀前半 版画／インク・紙 17.6×22.9(寄贈)
65	作者不詳(インド) 太陽神と動植物 2000年代 平面／水彩・紙 53.0×15.5(寄贈)	80	作者不詳(インド) ナーガの上に横たわるヴィシュヌ 20世紀 版画／ステンシル・紙 66.5×56.0(寄贈)	95	作者不詳(インド) 白馬を引くカルキ 19世紀後半～20世紀前半 版画／木版画・紙 15.7×24.2(寄贈)	110	作者不詳(インド) 『ペリヤ・ブラーナム』挿絵 20世紀前半 版画／インク・紙 19.1×26.7(寄贈)
66	作者不詳(インド) 樹上で笛を吹くクリシュナ 2000年代 平面／紙、顔料水彩・紙 53.0×17.5(寄贈)	81	作者不詳(インド) ヴィシュヌとシヴァの出会い 20世紀 版画／ステンシル・紙 65.9×53.0(寄贈)	96	作者不詳(インド) クリシュナと太守夫婦 19世紀後半～20世紀前半 版画／木版画・紙 15.8×24.5(寄贈)	111	作者不詳(インド) 『ペリヤ・ブラーナム』挿絵(踊る シヴァ[ナタラージャ]) 20世紀前半 版画／インク・紙 17.5×24.8(寄贈)
67	作者不詳(インド) 太陽神 2000年代 平面／水彩・紙 51.0×15.5(寄贈)	82	作者不詳(インド) ヴィシュヌとシヴァの出会い 20世紀 版画／ステンシル・紙 66.0×55.9(寄贈)	97	作者不詳(インド) 魚に姿を変えたクリシュナ 19世紀後半～20世紀前半 版画／木版画・紙 15.7×14.5(寄贈)	112	作者不詳(インド) 『ペリヤ・ブラーナム』挿絵 20世紀前半 版画／インク・紙 17.5×23.1(寄贈)
68	作者不詳(インド) 水壺を運ぶ女性 2000年代 平面／水彩・紙 51.5×15.5(寄贈)	83	作者不詳(インド) マヒシャースラを倒すドゥルガー 20世紀 版画／ステンシル・紙 65.0×56.0(寄贈)	98	作者不詳(インド) ナラシンハ 19世紀後半～20世紀前半 版画／木版画・紙 15.8×14.4(寄贈)	113	作者不詳(インド) 『ペリヤ・ブラーナム』挿絵 20世紀前半 版画／インク・紙 17.7×23.0(寄贈)
69	作者不詳(インド) 動物たちのパラダイス 2000年代 平面／水彩・紙 51.0×15.5(寄贈)	84	作者不詳(インド) マヒシャースラを倒すドゥルガー 20世紀 版画／ステンシル・紙 65.0×56.0(寄贈)	99	作者不詳(インド) ヴァラーハ 19世紀後半～20世紀前半 版画／木版画・紙 15.6×14.6(寄贈)	114	作者不詳(インド) 『ペリヤ・ブラーナム』挿絵 20世紀前半 版画／インク・紙 18.2×22.7(寄贈)
70	作者不詳(インド) (ワルリー画) 20世紀末 平面／水彩・紙 55.6×75.7(寄贈)	85	作者不詳(インド) マヒシャースラを倒すドゥルガー 20世紀 版画／ステンシル・紙 52.3×52.3(寄贈)	100	作者不詳(インド) クルマ 19世紀後半～20世紀前半 版画／木版画・紙 16.0×14.5(寄贈)	115	作者不詳(インド) 『ペリヤ・ブラーナム』挿絵(ヴィ シュヌ) 20世紀前半 版画／インク・紙 17.3×23.2(寄贈)
71	作者不詳(インド) アルボナ 20世紀末 研究資料／水彩・紙 25.4×28.0(寄贈)	86	作者不詳(インド) ガネーシャ 20世紀 版画／ステンシル・紙 60.3×52.2(寄贈)	101	作者不詳(インド) 衆士 19世紀後半～20世紀前半 版画／木版画・紙 31.9×14.9(寄贈)	116	作者不詳(インド) 『ペリヤ・ブラーナム』挿絵(ブラフ マーと戦士) 20世紀前半 版画／インク・紙 17.2×23.2(寄贈)
72	ヤムナー・デーヴィー(インド) 太陽神 20世紀末 研究資料／水彩・紙 25.1×28.0(寄贈)	87	作者不詳(インド) クリシュナと神々 20世紀 版画／ステンシル・紙 65.7×56.0(寄贈)	102	作者不詳(インド) バカースラを退治するクリシュナ 19世紀後半～20世紀前半 版画／木版画・紙 15.7×14.6(寄贈)	117	作者不詳(インド) 『ペリヤ・ブラーナム』挿絵 20世紀前半 版画／インク・紙 17.1×22.9(寄贈)
73	作者不詳(インド) ラーマの一族 20世紀 版画／ステンシル・紙 65.9×53.0(寄贈)	88	作者不詳(インド) 太守と愛妾 19世紀後半～20世紀前半 版画／木版画・紙 34.2×26.6(寄贈)	103	作者不詳(インド) クリシュナを連れてヤムナー川を 渡るヴァースデーヴァ 19世紀後半～20世紀前半 版画／木版画・紙 15.6×14.8(寄贈)	118	作者不詳(インド) 『ペリヤ・ブラーナム』挿絵(シヴァ とパールヴァティ) 20世紀前半 版画／インク・紙 17.3×23.1(寄贈)
74	作者不詳(インド) ラーマの一族 20世紀 版画／ステンシル・紙 67.5×55.9(寄贈)	89	作者不詳(インド) 太守と愛妾 19世紀後半～20世紀前半 版画／木版画・紙 34.4×26.8(寄贈)	104	作者不詳(インド) 女悪魔ブータナの乳を吸うクリシュナ 19世紀後半～20世紀前半 版画／木版画・紙 15.7×24.0(寄贈)	119	作者不詳(インド) 『ペリヤ・ブラーナム』挿絵 20世紀前半 版画／インク・紙 17.4×23.1(寄贈)
75	作者不詳(インド) ヴィシュヌとガネーシャ 20世紀 版画／ステンシル・紙 72.2×56.0(寄贈)	90	作者不詳(インド) 太守と愛妾 19世紀後半～20世紀前半 版画／木版画・紙 34.9×26.8(寄贈)	105	作者不詳(インド) 衆士 19世紀後半～20世紀前半 版画／木版画・紙 30.8×14.8(寄贈)	120	作者不詳(インド) 『ペリヤ・ブラーナム』挿絵 20世紀前半 版画／インク・紙 17.3×23.0(寄贈)
76	作者不詳(インド) ガネーシャ、ラーマの一族、ダッ タートレーヤ、ドゥルガー 20世紀 版画／ステンシル・紙 64.5×56.0(寄贈)	91	作者不詳(インド) クリシュナ 19世紀後半～20世紀前半 版画／木版画・紙 15.6×14.5(寄贈)	106	作者不詳(インド) クリシュナとラーダー 19世紀後半～20世紀前半 版画／木版画・紙 15.6×14.7(寄贈)	121	作者不詳(インド) 『ペリヤ・ブラーナム』挿絵 20世紀前半 版画／インク・紙 17.6×23.5(寄贈)
77	作者不詳(インド) ナーガの上に横たわるヴィシュヌ 20世紀 版画／ステンシル・紙 66.5×56.0(寄贈)	92	作者不詳(インド) パラシュラーマ 19世紀後半～20世紀前半 版画／木版画・紙 16.3×14.6(寄贈)	107	作者不詳(インド) ラーマの一族 19世紀後半～20世紀前半 版画／木版画・紙 34.3×27.1(寄贈)	122	作者不詳(インド) 『ペリヤ・ブラーナム』挿絵 20世紀前半 版画／インク・紙 17.4×22.8(寄贈)
78	作者不詳(インド) ナーガの上に横たわるヴィシュヌ 20世紀 版画／ステンシル・紙 66.2×56.0(寄贈)	93	作者不詳(インド) ラーマとラクシュマナ 19世紀後半～20世紀前半 版画／木版画・紙 15.7×14.7(寄贈)	108	作者不詳(インド) 『ペリヤ・ブラーナム』挿絵 20世紀前半 版画／インク・紙 17.4×23.0(寄贈)		

183	作者不詳(インド) 『ペリヤ・プラーナム』挿絵 20世紀前半 版画／水彩、インク・紙 18.0×23.8(寄贈)	198	クリストフリー・ダス(インド) 第5化身バヴァーマナ 1880 版画／リトグラフ・紙 22.2×15.8(寄贈)	212	クリストフリー・ダス(インド) 恐怖:ヒラニヤカシブの腹を切り 裂くナラシンハ 1880 版画／リトグラフ・紙 22.3×15.7(寄贈)	227	作者不詳(インド) ハヌマーン 20世紀後半 立体／塗料・土 16.8×8.0×7.8(寄贈)
184	作者不詳(インド) 『ペリヤ・プラーナム』挿絵 20世紀前半 版画／水彩、インク・紙 19.3×24.9(寄贈)	199	クリストフリー・ダス(インド) 第6化身バラシュラーマ 1880 版画／リトグラフ・紙 22.2×15.4(寄贈)	213	作者不詳(インド) カヴァド 20世紀前半 立体／顔料・木 31.0×19.5×16.0(寄贈)	228	製造社不詳(インド) クリシュナ 20世紀前半 立体／陶器 13.2×3.5×1.9(寄贈)
185	作者不詳(インド) 『ペリヤ・プラーナム』挿絵 20世紀前半 版画／水彩、インク・紙 19.0×24.9(寄贈)	200	クリストフリー・ダス(インド) 第7化身ラーマ 1880 版画／リトグラフ・紙 22.2×15.4(寄贈)	214	作者不詳(インド) カヴァド 20世紀後半 立体／顔料・木 32.3×19.8×13.0(寄贈)	229	製造社不詳(インド) クリシュナ 20世紀前半 立体／陶器 16.0×3.9×3.0(寄贈)
186	作者不詳(インド) 『ペリヤ・プラーナム』挿絵(シ ヴァ神像[リンガ]の沐浴) 20世紀前半 版画／水彩、インク・紙 18.0×13.8(寄贈)	201	クリストフリー・ダス(インド) 第8化身バララーマ 1880 版画／リトグラフ・紙 22.2×15.6(寄贈)	215	作者不詳(インド) カヴァド 20世紀後半 立体／顔料・木 20.5×8.8×6.2(寄贈)	230	製造社不詳(インド) クリシュナ 20世紀前半 立体／陶器 15.5×3.8×2.2(寄贈)
187	作者不詳(インド) 『ペリヤ・プラーナム』挿絵 20世紀前半 版画／水彩、インク・紙 19.2×24.7(寄贈)	202	クリストフリー・ダス(インド) 第9化身ブッダ 1880 版画／リトグラフ・紙 22.2×15.9(寄贈)	216	作者不詳(インド) カヴァド 20世紀後半 立体／顔料・木 23.5×10.8×7.5(寄贈)	231	製造社不詳(インド) クリシュナ 20世紀前半 立体／陶器 15.5×3.5×2.2(寄贈)
188	作者不詳(インド) 『ペリヤ・プラーナム』挿絵 20世紀前半 版画／水彩、インク・紙 18.5×23.4(寄贈)	203	クリストフリー・ダス(インド) 第10化身カルキ 1880 版画／リトグラフ・紙 22.3×15.3(寄贈)	217	作者不詳(インド) カヴァド 1990年代 立体／顔料・木 18.2×9.0×7.7(寄贈)	232	製造社不詳(インド) 笛を吹くクリシュナ 20世紀前半 立体／陶器 13.0×5.5×3.0(寄贈)
189	作者不詳(インド) 『ペリヤ・プラーナム』挿絵 20世紀前半 版画／水彩、インク・紙 18.3×23.9(寄贈)	204	クリストフリー・ダス(インド) ヒンドゥーの十大化身(全図) 1880 版画／リトグラフ・紙 21.4×16.8(寄贈)	218	作者不詳(インド) カヴァド 1990年代 立体／顔料・木 13.0×7.0×4.7(寄贈)	233	製造社不詳(インド) クリシュナ 20世紀前半 立体／陶器 4.2×11.2×2.6(寄贈)
190	作者不詳(インド) 『ペリヤ・プラーナム』挿絵 20世紀前半 版画／水彩、インク・紙 19.2×25.1(寄贈)	205	クリストフリー・ダス(インド) 悲しみ:シーターの追放 1880 版画／リトグラフ・紙 22.3×16.1(寄贈)	219	作者不詳(インド) ジャガンナート神祭壇 1990年代 立体／顔料・木 15.9×11.5×4.6(寄贈)	234	製造社不詳(インド) ヴィシュヌ 20世紀前半 立体／陶器 7.1×6.0×2.3(寄贈)
191	作者不詳(インド) 『ペリヤ・プラーナム』挿絵 20世紀前半 版画／水彩、インク・紙 18.7×24.1(寄贈)	206	クリストフリー・ダス(インド) 恋情:ラーズ・リーラー 1880 版画／リトグラフ・紙 22.5×16.0(寄贈)	220	作者不詳(インド) ラーダーとクリシュナ 20世紀後半 立体／塗料・土 32.2×15.0×9.5(寄贈)	235	製造社不詳(インド) マツヤ 20世紀前半 立体／陶器 13.0×5.5×3.0(寄贈)
192	作者不詳(インド) 『ペリヤ・プラーナム』挿絵 20世紀前半 版画／水彩、インク・紙 18.0×23.8(寄贈)	207	クリストフリー・ダス(インド) 驚き:アハリヤーの変身 1880 版画／リトグラフ・紙 22.6×15.9(寄贈)	221	作者不詳(インド) 儀礼用壺 20世紀後半 立体／塗料・土 24.0×16.3×14.0(寄贈)	236	製造社不詳(インド) カーマデーヴァ 20世紀前半 立体／陶器 12.3×6.0×3.0(寄贈)
193	クリストフリー・ダス(インド) ヴィシュヌ 1880 版画／リトグラフ・紙 22.2×15.7(寄贈)	208	クリストフリー・ダス(インド) 滑稽:ほうきで夫を叩くカラネ ミの妻 1880 版画／リトグラフ・紙 22.3×15.7(寄贈)	222	作者不詳(インド) ガネーシャ 20世紀後半 立体／塗料・土 20.5×14.0×12.8(寄贈)	237	製造社不詳(インド) ハヌマーン 20世紀前半 立体／陶器 10.1×4.4×2.2(寄贈)
194	クリストフリー・ダス(インド) 第1化身マツヤ 1880 版画／リトグラフ・紙 22.3×15.3(寄贈)	209	クリストフリー・ダス(インド) 怒り:ハリス・チャンドラ王を罵る ヴィシュヴァーミトラ 1880 版画／リトグラフ・紙 22.6×15.9(寄贈)	223	作者不詳(インド) ヴィラーハ 20世紀後半 立体／塗料・土 23.5×8.0×5.9(寄贈)	238	製造社不詳(インド) ハヌマーン 20世紀前半 立体／陶器 10.0×4.5×2.1(寄贈)
195	クリストフリー・ダス(インド) 第2化身クールマ 1880 版画／リトグラフ・紙 21.9×15.4(寄贈)	210	クリストフリー・ダス(インド) 勇猛:ドゥフシャーサナを倒すビーマ 1880 版画／リトグラフ・紙 22.5×15.7(寄贈)	224	作者不詳(インド) ナラシンハ 20世紀後半 立体／塗料・土 20.0×7.0×4.9(寄贈)	239	製造社不詳(インド) ラクシュミー 20世紀前半 立体／陶器 9.9×3.5×1.6(寄贈)
196	クリストフリー・ダス(インド) 第3化身ヴァラーハ 1880 版画／リトグラフ・紙 22.1×15.6(寄贈)	211	クリストフリー・ダス(インド) 嫌悪:死体を食べるルディラ・プリ ヤとその妻 1880 版画／リトグラフ・紙 22.4×16.2(寄贈)	225	作者不詳(インド) ミーナークシー寺院 20世紀後半 立体／塗料・土 16.5×7.3×4.5(寄贈)	240	製造社不詳(インド) ラクシュミー 20世紀前半 立体／陶器 10.5×4.0×1.9(寄贈)
197	クリストフリー・ダス(インド) 第4化身ナラシンハ 1880 版画／リトグラフ・紙 22.7×16.1(寄贈)			226	作者不詳(インド) ラクシュミー 20世紀後半 立体／塗料・土 16.5×8.0×6.1(寄贈)	241	製造社不詳(インド) ラクシュミー 20世紀前半 立体／陶器 10.3×3.7×2.0(寄贈)

242	製造社不詳(インド) サラスヴァティー 20世紀前半 立体／陶器 12.1×5.5×2.9(寄贈)	257	製造社不詳(インド) クリシュナ 20世紀前半 立体／陶器 15.4×20.5×1.7(寄贈)	272	作者不詳(日本・インド) サンバン(平底舟)に乗る猿3匹 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 16.5×28.0(寄贈)	287	作者不詳(日本・インド) 安全マッチ 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 16.6×29.0(寄贈)
243	製造社不詳(インド) シーター 20世紀前半 立体／陶器 10.5×5.5×2.7(寄贈)	258	月星建陶社製(インド) ラクシュミー 20世紀前半 立体／陶器 15.5×15.5×0.8(寄贈)	273	作者不詳(日本・インド) 虎の親子 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 17.6×29.4(寄贈)	288	作者不詳(日本・インド) 安全マッチ 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 15.6×24.8(寄贈)
244	製造社不詳(インド) シーター 20世紀前半 立体／陶器 9.5×3.5×1.7(寄贈)	259	製造社不詳(インド) 笛を吹くクリシュナ 20世紀前半 立体／陶器 15.5×15.3×0.9(寄贈)	274	作者不詳(日本・インド) ガーンディーと鹿 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 17.3×28.7(寄贈)	289	作者不詳(日本・インド) 駝鳥 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 16.9×28.7(寄贈)
245	製造社不詳(インド) シーター 20世紀前半 立体／陶器 9.7×3.5×1.2(寄贈)	260	製造社不詳(インド) 花文様装飾 20世紀前半 立体／陶器 15.0×15.0×1.0(寄贈)	275	作者不詳(日本・インド) 蹴鞠をする男 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 16.8×29.1(寄贈)	290	作者不詳(日本・インド) 駝鳥 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 15.3×24.8(寄贈)
246	製造社不詳(インド) ダイヤモンド 20世紀前半 立体／陶器 12.9×6.2×5.0(寄贈)	261	製造社不詳(インド) 花文様装飾 20世紀前半 立体／陶器 7.6×15.1×0.9(寄贈)	276	作者不詳(日本・インド) ライオンの背で楽器を奏でる女性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 17.5×29.8(寄贈)	291	作者不詳(日本・インド) タブラーを演奏する男 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 17.5×29.0(寄贈)
247	製造社不詳(インド) ジャマダール・ミル・ダスト兵 20世紀前半 立体／陶器 13.0×4.5×3.0(寄贈)	262	製造社不詳(インド) 花文様装飾 20世紀前半 立体／陶器 7.6×15.1×0.8(寄贈)	277	作者不詳(日本・インド) 小舟で大型マッチを運ぶ男性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 16.6×28.0(寄贈)	292	作者不詳(日本・インド) 電気 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 16.6×28.2(寄贈)
248	製造社不詳(インド) 男性像 20世紀前半 立体／陶器 12.8×4.0×2.7(寄贈)	263	製造社不詳(インド) 丸文様装飾 20世紀前半 立体／陶器 7.5×15.0×0.8(寄贈)	278	作者不詳(日本・インド) バラを持つ女性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 16.6×28.6(寄贈)	293	作者不詳(日本・インド) 鹿 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 16.3×28.0(寄贈)
249	製造社不詳(インド) 女性像 20世紀前半 立体／陶器 12.5×5.5×2.7(寄贈)	264	製造社不詳(インド) 花文様装飾 20世紀前半 立体／陶器 7.5×15.3×1.0(寄贈)	279	作者不詳(日本・インド) バラ 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 17.1×28.4(寄贈)	294	作者不詳(日本・インド) 電気 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 16.7×28.5(寄贈)
250	製造社不詳(インド) 女性像 20世紀前半 立体／陶器 9.9×4.5×3.0(寄贈)	265	製造社不詳(インド) 花文様装飾 20世紀前半 立体／陶器 7.5×15.0×0.8(寄贈)	280	作者不詳(日本・インド) 地球をまとった象 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 17.3×29.2(寄贈)	295	作者不詳(日本・インド) ライオン 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 16.6×28.5(寄贈)
251	製造社不詳(インド) 女性像 20世紀前半 立体／陶器 9.6×3.0×2.3(寄贈)	266	製造社不詳(インド) シヴァ 20世紀前半 立体／陶器 26.5×12.0×10.5(寄贈)	281	作者不詳(日本・インド) 跳ねる馬 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 16.8×29.5(寄贈)	296	作者不詳(日本・インド) ガチョウと塀を越える少年 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 17.2×29.2(寄贈)
252	製造社不詳(インド) 女性像 20世紀前半 立体／陶器 12.0×5.1×3.5(寄贈)	267	作者不詳(日本・インド) ガジャ・ラクシュミー 1911-1920年代 版画／電胎凸版4色刷・紙 17.3×29.3(寄贈)	282	作者不詳(日本・インド) 麦わらを掴む象 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 16.8×29.5(寄贈)	297	作者不詳(日本・インド) 2頭の鹿 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 17.4×29.9(寄贈)
253	製造社不詳(インド) 女性像 20世紀前半 立体／陶器 12.0×4.5×4.0(寄贈)	268	作者不詳(日本・インド) 虎 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 16.5×28.3(寄贈)	283	作者不詳(日本・インド) 曲馬 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 17.0×29.3(寄贈)	298	作者不詳(日本・インド) 鹿 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 17.2×28.8(寄贈)
254	製造社不詳(インド) 女性と犬 20世紀前半 立体／陶器 10.2×6.4×5.0(寄贈)	269	作者不詳(日本・インド) 象を襲う虎 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 18.0×29.7(寄贈)	284	作者不詳(日本・インド) 猿と鹿 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 16.6×28.9(寄贈)	299	作者不詳(日本・インド) 龍と2頭の虎 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 17.4×29.0(寄贈)
255	製造社不詳(インド) 牛の親子 20世紀前半 立体／陶器 7.4×7.6×2.5(寄贈)	270	作者不詳(日本・インド) 指揮官 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 16.3×28.0(寄贈)	285	作者不詳(日本・インド) 争う2頭の虎 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 17.3×28.6(寄贈)	300	作者不詳(日本・インド) ラジオと鹿 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 17.2×28.7(寄贈)
256	製造社不詳(インド) 少年像 20世紀前半 立体／陶器 8.6×4.0×2.5(寄贈)	271	作者不詳(日本・インド) 3頭の虎 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 16.3×29.4(寄贈)	286	作者不詳(日本・インド) 太陽と馬 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 16.5×28.0(寄贈)	301	作者不詳(日本・インド) 象 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 17.8×29.8(寄贈)

302	作者不詳(日本・インド) 3頭の鹿 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 16.8×28.2(寄贈)	317	作者不詳(日本・インド) シャクンタラーの誕生 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 28.7×16.5(寄贈)	332	作者不詳(日本・インド) Cを持つサリーの女性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 28.6×16.8(寄贈)	347	作者不詳(日本・インド) 3匹のサルと桃 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 3.6×5.0(寄贈)
303	作者不詳(日本・インド) 3頭の鹿 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 16.9×28.2(寄贈)	318	作者不詳(日本・インド) シャクンタラーの誕生 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 28.7×16.7(寄贈)	333	作者不詳(日本・インド) バラと旗を持つ女性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 28.4×17.0(寄贈)	348	作者不詳(日本・インド) コブラ 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 3.2×4.9(寄贈)
304	作者不詳(日本・インド) 母なるインド 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 11.5×21.1(寄贈)	319	作者不詳(日本・インド) シャクンタラーの誕生 1914～1920年代 版画／電胎凸版5色刷・紙 28.1×16.6(寄贈)	334	作者不詳(日本・インド) サリー姿の女性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 29.5×17.1(寄贈)	349	作者不詳(日本・インド) 2匹のコブラ 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 3.6×4.9(寄贈)
305	作者不詳(日本・インド) 鷹とブラフマー 1915-1920年代 版画／電胎凸版2色刷・紙 28.8×17.0(寄贈)	320	作者不詳(日本・インド) シャクンタラーの誕生 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 28.8×16.5(寄贈)	335	作者不詳(日本・インド) 椅子の上の幼児 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 29.6×17.6(寄贈)	350	作者不詳(日本・インド) 幼児クリシュナを逃がすヴァス デーヴァ 1910年代～1920年代 版画／電胎凸版4色刷・紙 4.4×3.2(寄贈)
306	作者不詳(日本・インド) サラスヴァティー 1910年代-1920年代 版画／電胎凸版4色刷・紙 29.2×16.3(寄贈)	321	作者不詳(日本・インド) シャクンタラーの誕生 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 17.0×29.0(寄贈)	336	作者不詳(日本・インド) 男性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 29.6×16.9(寄贈)	351	作者不詳(日本・インド) 幼児クリシュナを逃がすヴァス デーヴァ 1910年代～1920年代 版画／電胎凸版4色刷・紙 4.4×3.3(寄贈)
307	作者不詳(日本・インド) サラスヴァティー 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 28.5×16.8(寄贈)	322	作者不詳(日本・インド) 2人の女性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 28.9×16.8(寄贈)	337	作者不詳(日本・インド) ジャンシーの女王 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 30.3×16.9(寄贈)	352	作者不詳(日本・インド) 幼児クリシュナを逃がすヴァス デーヴァ 1910年代～1920年代 版画／電胎凸版4色刷・紙 4.4×3.2(寄贈)
308	作者不詳(日本・インド) サラスヴァティー 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 28.9×16.2(寄贈)	323	作者不詳(日本・インド) 虎の頭 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 28.1×17.2(寄贈)	338	作者不詳(日本・インド) 旭日を背にした女性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 30.0×18.1(寄贈)	353	作者不詳(日本・インド) 幼児クリシュナを逃がすヴァス デーヴァ 1910年代～1920年代 版画／電胎凸版4色刷・紙 4.4×3.3(寄贈)
309	作者不詳(日本・インド) シヴァを踏みつけるカーリー 1911-1920年代 版画／電胎凸版4色刷・紙 29.2×15.8(寄贈)	324	作者不詳(日本・インド) ユニオン・ジャック 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 28.7×17.2(寄贈)	339	作者不詳(日本・インド) ヴィシュヌ、ガルダ、ハヌマーン 1912～1920年代 版画／電胎凸版4色刷・紙 3.6×5.7(寄贈)	354	作者不詳(日本・インド) 幼児クリシュナを逃がすヴァス デーヴァ 1910年代～1920年代 版画／電胎凸版4色刷・紙 4.4×3.2(寄贈)
310	作者不詳(日本・インド) シュリナートジー(クリシュナ) 1912-1920年代 版画／電胎凸版4色刷・紙 29.2×16.9(寄贈)	325	作者不詳(日本・インド) マラーター国王シヴァージー 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 29.0×16.4(寄贈)	340	作者不詳(日本・インド) 虎皮に座すシヴァ 1912～1920年代 版画／電胎凸版4色刷・紙 3.7×5.6(寄贈)	355	作者不詳(日本・インド) 幼児クリシュナを逃がすヴァス デーヴァ 1910年代～1920年代 版画／電胎凸版4色刷・紙 4.3×3.2(寄贈)
311	作者不詳(日本・インド) ラーダーとクリシュナ 1910-1920年代 版画／電胎凸版4色刷・紙 29.1×17.4(寄贈)	326	作者不詳(日本・インド) 鶏 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 29.3×17.3(寄贈)	341	作者不詳(日本・インド) 母なるインド 1918～1920年代 版画／電胎凸版4色刷・紙 3.6×5.4(寄贈)	356	作者不詳(日本・インド) 幼児クリシュナを逃がすヴァス デーヴァ 1910年代～1920年代 版画／電胎凸版4色刷・紙 4.4×3.2(寄贈)
312	作者不詳(日本・インド) クリシュナとラーマ 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 29.0×16.9(寄贈)	327	作者不詳(日本・インド) 鹿 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 29.1×17.4(寄贈)	342	作者不詳(日本・インド) 象を襲う虎 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 3.5×5.2(寄贈)	357	作者不詳(日本・インド) クリシュナの戯れ 1911～1920年代 版画／電胎凸版5色刷・紙 5.6×3.6(寄贈)
313	作者不詳(日本・インド) マヒシャースラを倒すドゥルガー 1910年代-1920年代 版画／電胎凸版2色刷・紙 29.3×17.2(寄贈)	328	作者不詳(日本・インド) 赤いバラを持つ女性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 28.3×16.9(寄贈)	343	作者不詳(日本・インド) 象を襲う虎 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 3.6×5.2(寄贈)	358	作者不詳(日本・インド) 幼児クリシュナ 1911～1920年代 版画／リトグラフ4色刷・紙 5.5×3.6(寄贈)
314	作者不詳(日本・インド) シャクンタラーの誕生 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 28.5×15.8(寄贈)	329	作者不詳(日本・インド) チーターの闘い 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 28.6×17.0(寄贈)	344	作者不詳(日本・インド) 曲馬 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 3.0×4.8(寄贈)	359	作者不詳(日本・インド) 幼児クリシュナ 1911～1920年代 版画／電胎凸版4色刷・紙 5.6×3.6(寄贈)
315	作者不詳(日本・インド) シャクンタラーの誕生 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 28.6×16.6(寄贈)	330	作者不詳(日本・インド) 8カ国の国旗を背負う女性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 29.1×16.7(寄贈)	345	作者不詳(日本・インド) 象 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 3.4×5.7(寄贈)	360	作者不詳(日本・インド) マヒシャースラを倒すドゥルガー 1911～1920年代 版画／電胎凸版2色刷・紙 5.6×3.5(寄贈)
316	作者不詳(日本・インド) シャクンタラーの誕生 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 28.7×16.7(寄贈)	331	作者不詳(日本・インド) 落下傘で下降する女性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 28.5×17.1(寄贈)	346	作者不詳(日本・インド) タブラーを弾く男性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 3.7×5.5(寄贈)		

361	作者不詳(日本・インド) シヴァを踏みつけるカーリー 1909～1920年代 版画／電胎凸版4色刷・紙 5.6×3.5(寄贈)	376	作者不詳(日本・インド) ナラシンハ 1910年代～1920年代 版画／リトグラフ4色刷・紙 4.4×3.2(寄贈)	391	作者不詳(日本・インド) 羽を背負う2人の女性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 4.9×3.6(寄贈)	406	作者不詳(日本・インド) 子のベッドを運ぶ母 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 4.4×3.2(寄贈)
362	作者不詳(日本・インド) シヴァを踏みつけるカーリー 1911～1920年代 版画／電胎凸版4色刷・紙 5.6×3.6(寄贈)	377	作者不詳(日本・インド) ジュリナートジー(クリシュナ) 1915～1920年代 版画／リトグラフ2色刷・紙 4.3×3.1(寄贈)	392	作者不詳(日本・インド) 剣闘士 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 5.5×3.6(寄贈)	407	作者不詳(日本・インド) 寺院へ向かう女性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 4.4×3.2(寄贈)
363	作者不詳(日本・インド) ガネーシャを抱くパールヴァティー 1915～1920年代 版画／電胎凸版4色刷・紙 5.5×3.6(寄贈)	378	作者不詳(日本・インド) 調査中 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 4.5×3.2(寄贈)	393	作者不詳(日本・インド) Oを持つ少女 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 5.6×3.5(寄贈)	408	作者不詳(日本・インド) 旭日を背負う女性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 5.6×3.6(寄贈)
364	作者不詳(日本・インド) シヴァ 1915～1920年代 版画／リトグラフ6色刷・紙 5.6×3.6(寄贈)	379	作者不詳(日本・インド) バスマースラと踊るモーヒニー 1910年代～1920年代 版画／リトグラフ4色刷・紙 4.4×3.2(寄贈)	394	作者不詳(日本・インド) 地球とサリー姿の女性たち 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 5.6×3.6(寄贈)	409	作者不詳(日本・インド) 旭日を背負う女性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 5.7×3.6(寄贈)
365	作者不詳(日本・インド) シヴァ 1910年代～1920年代 版画／リトグラフ5色刷・紙 5.4×3.5(寄贈)	380	作者不詳(日本・インド) 西洋の女性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 5.5×3.4(寄贈)	395	作者不詳(日本・インド) 鏡と女性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 5.6×3.6(寄贈)	410	作者不詳(日本・インド) 藩王 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 4.4×3.2(寄贈)
366	作者不詳(日本・インド) ブラフマー 1911～1920年代 版画／電胎凸版2色刷・紙 5.6×3.6(寄贈)	381	作者不詳(日本・インド) 西洋の女性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 5.5×3.1(寄贈)	396	作者不詳(日本・インド) マラーター国王シヴァージー 1910年代～1920年代 版画／電胎凸版3色刷・紙 5.3×3.6(寄贈)	411	作者不詳(日本・インド) 女性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 5.0×3.5(寄贈)
367	作者不詳(日本・インド) ガルダに乗るヴィシュヌ 1910年代～1920年代 版画／電胎凸版4色刷・紙 5.5×3.6(寄贈)	382	作者不詳(日本・インド) 西洋の女性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 5.5×3.3(寄贈)	397	作者不詳(日本・インド) ニザーム藩王ミール・オスマーン・アリー 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 5.5×3.5(寄贈)	412	作者不詳(日本・インド) グジャラートのガーイクワード家 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 9.3×7.2(寄贈)
368	作者不詳(日本・インド) 鷲とブラフマー 1915～1920年代 版画／電胎凸版2色刷・紙 5.7×3.6(寄贈)	383	作者不詳(日本・インド) 西洋の女性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 5.5×3.4(寄贈)	398	作者不詳(日本・インド) 2人の女性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 5.6×3.6(寄贈)	413	グエン・ティ・オアイン(ベトナム) 鯉 制作年不詳 版画／木版・紙 29.5×18.0(寄贈)
369	作者不詳(日本・インド) ジュリナートジー(クリシュナ) 1912～1920年代 版画／電胎凸版4色刷・紙 5.6×3.6(寄贈)	384	作者不詳(日本・インド) 西洋の女性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 5.6×3.6(寄贈)	399	作者不詳(日本・インド) 2人の女性 1916～1920年代 版画／電胎凸版4色刷・紙 5.6×3.6(寄贈)	414	グエン・ティ・オアイン(ベトナム) 子沢山の豚 制作年不詳 版画／木版・紙 19.3×29.0(寄贈)
370	作者不詳(日本・インド) 葉草の山を運ぶハヌマーン 1913～1920年代 版画／リトグラフ5色刷・紙 4.8×3.6(寄贈)	385	作者不詳(日本・インド) 西洋の女性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 5.6×3.6(寄贈)	400	作者不詳(日本・インド) 2人の女性 1918～1920年代 版画／電胎凸版4色刷・紙 4.9×3.6(寄贈)	415	グエン・ティ・オアイン(ベトナム) 鼠の嫁入り 制作年不詳 版画／木版・紙 20.0×30.0(寄贈)
371	作者不詳(日本・インド) 聖仙ヴィシュヴァーミトラを誘惑するメーナカー 1913～1920年代 版画／リトグラフ5色刷・紙 4.8×3.6(寄贈)	386	作者不詳(日本・インド) 美しい女性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 5.6×3.5(寄贈)	401	作者不詳(日本・インド) 2人の女性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 4.8×3.2(寄贈)	416	グエン・ティ・オアイン(ベトナム) 報暁図 制作年不詳 版画／木版・紙 18.0×25.5(寄贈)
372	作者不詳(日本・インド) サラスヴァティー 1917～1920年代 版画／電胎凸版1色刷・紙 4.1×3.2(寄贈)	387	作者不詳(日本・インド) 西洋の女性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 5.5×3.6(寄贈)	402	作者不詳(日本・インド) 2人の女性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 4.8×3.2(寄贈)	417	グエン・ティ・オアイン(ベトナム) 水牛に乗る童子 制作年不詳 版画／木版・紙 25.0×18.7(寄贈)
373	作者不詳(日本・インド) ガルダに乗るヴィシュヌと神妃 1914～1920年代 版画／リトグラフ5色刷・紙 4.9×3.6(寄贈)	388	作者不詳(日本・インド) 西洋の女性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 5.6×3.6(寄贈)	403	作者不詳(日本・インド) 踊り子 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 4.9×3.1(寄贈)	418	グエン・ティ・オアイン(ベトナム) 鴨を抱く童子門図 制作年不詳 版画／木版・紙 23.2×16.7(寄贈)
374	作者不詳(日本・インド) ガジェンドラ(象)の救出 1910年代～1920年代 版画／リトグラフ4色刷・紙 4.4×3.2(寄贈)	389	作者不詳(日本・インド) 羽を背負う女性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 5.4×3.6(寄贈)	404	作者不詳(日本・インド) インド皇帝 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 5.0×3.5(寄贈)	419	グエン・ティ・オアイン(ベトナム) 鶏を抱く童子門図 制作年不詳 版画／木版・紙 22.5×16.2(寄贈)
375	作者不詳(日本・インド) ガンガー女神の降下 1914～1920年代 版画／リトグラフ4色刷・紙 4.4×3.2(寄贈)	390	作者不詳(日本・インド) 羽を背負う女性 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 5.5×3.6(寄贈)	405	作者不詳(日本・インド) 藩王 20世紀初め 版画／電胎凸版刷・紙 5.1×3.5(寄贈)	420	グエン・ティ・オアイン(ベトナム) 椰子の実採り 制作年不詳 版画／木版・紙 22.8×15.9(寄贈)

- | | | | |
|-----|--|-----|--|
| 421 | グエン・ティ・オアイン(ベトナム)
豚
制作年不詳
版画／木版・紙
14.7×26.0(寄贈) | 435 | スーン・ヴァナラ(カンボジア)
影の風
2002
立体／紙、針金、竹、藤、糸
205.0×160.0(寄贈) |
| 422 | グエン・ティ・オアイン(ベトナム)
四季花鳥図
制作年不詳
版画／木版・紙
17.0×31.3(寄贈) | 436 | スティー・クナウィチャヤノン
(タイ)
歴史の授業(福岡)
2002
立体／机(紙、色鉛筆)
70.0×145.0(寄贈) |
| 423 | グエン・ティ・オアイン(ベトナム)
相撲
制作年不詳
版画／木版・紙
11.5×21.3(寄贈) | 437 | タウィーサック・シートンディー
(タイ)
ヒーロー
2005
立体／スクーター、ステッカー、塗料
143.0×170.0×73.0(寄贈) |
| 424 | グエン・フウ・クア(ベトナム)
鼠の嫁入り
制作年不詳
版画／木版、着彩・紙
43.0×64.7(寄贈) | 438 | リンチェン・ウォンディ(ブータン)
母
2006
平面／アクリル・画布
391.5×184.5(寄贈) |
| 425 | グエン・フウ・クア(ベトナム)
鼠の嫁入り
制作年不詳
版画／木版・紙
13.1×20.6(寄贈) | 439 | リンチェン・ウォンディ(ブータン)
放生会
2006
平面／アクリル・画布
145.0×200.0(寄贈) |
| 426 | グエン・フウ・クア(ベトナム)
水牛に乗る童子
制作年不詳
版画／木版・紙
19.3×14.7(寄贈) | 440 | リンチェン・ウォンディ(ブータン)
最初の捧げ物
2006
平面／アクリル・画布
145.0×200.0(寄贈) |
| 427 | 作者不詳(ベトナム)
ドンホー版画制作道具一式(馬)
制作年不詳
研究資料／木材に浮彫
(寄贈) | 441 | リンチェン・ウォンディ(ブータン)
不詳(無題)
2006
平面／アクリル・画布
76.0×62.5(寄贈) |
| 428 | レ・タン・デュク(ベトナム)
夜の福岡
2001
平面／アクリル・画布
100.0×120.5(寄贈) | 442 | アブドゥス・サラム
(バングラデシュ)
福岡大空襲後(1945)
2007
立体／竹、紙、スピーカー
(寄贈) |
| 429 | レ・タン・デュク(ベトナム)
田舎
2001
平面／油彩・画布
72.7×91.0(寄贈) | | |
| 430 | カム・タン・サリアンカム(ラオス)
護りの屋根
2001
平面／油彩・画布
130.3×100.1(寄贈) | | |
| 431 | カム・タン・サリアンカム(ラオス)
護りの屋根
2001
平面／油彩・画布
130.2×100.4(寄贈) | | |
| 432 | カム・タン・サリアンカム(ラオス)
幸せな生活
2001
平面／アクリル、布・画布
180.0×219.5(寄贈) | | |
| 433 | カム・タン・サリアンカム(ラオス)
異なる視点
2001
平面／アクリル・画布
179.0×218.0(寄贈) | | |
| 434 | スーン・ヴァナラ、嵯山須美
(カンボジア)
共同で制作したクメールの風
2002
立体／竹、木、藤、ヤシの葉、糸、針金、
釘、蜜蝋、アクリル・布
386.3×299.5(寄贈) | | |

所蔵作品

2 貸出一覧

※2022年4月以降

貸 出 先:長崎県立美術館

展覧会名:テクテクテクネー 技法でひらく想像世界

展示期間: 2022年4月9日(土)~6月5日(日)

作品点数:1点

作者	作品名
1 須田悦弘	董

貸 出 先:シャルジャ芸術財団(アラブ首長国連邦)

展覧会名:ポップな南アジア:ポピュラーをめぐる芸術的探究

展示期間: 2022年9月2日(金)~12月11日(日)

作品点数:9点

作者	作品名
1 シシル・バッタチャルジー	英雄物語であったかもしれない 5
2 アトゥル・ドディア	ガンボーシ色のガッパル
3 ミヤーン・エジャーズル・ハサン	ドン!
4 ダリ・アル・マムーン	彼等がスピーチをしている間
5 マーリガーワゲー・サルリス	出家:髪を切り落とすシッダールタ王子
6 マーリガーワゲー・サルリス	ガウタマ・シッダールタ王子の誕生
7 マーリガーワゲー・サルリス	シッダールタ王子への最初の礼拝
8 マーリガーワゲー・サルリス	ルンビニからのマーヤー王妃
9 マーリガーワゲー・サルリス	シッダールタ王子とマーヤー王妃

貸 出 先:大分県立美術館(大分県民芸術文化祭実行委員会)

展覧会名:東アジア文化都市2022大分県「日中韓現代作家交流展in OITA2022 カイコウ-Encounter Our Lives」

展示期間: 2022年10月20日(木)~11月8日(火)

作品点数:7点

作者	作品名
1 ツァオ・フェイ(曹斐)	公共の場:キスして
2 ツァオ・フェイ(曹斐)	コスプレイヤー
3 ブー・ホア(卜樺)	はびこる野蚕
4 イン・シウジェン(尹秀珍)	毛糸
5 ホン・ソンミン	アンダルシアの7つのキャラクター
6 ムン・キョンウォン	Look at me!
7 孫雅由(ソン・アユ)	色の位置OC87-14

貸 出 先:キラン・ナダール美術館(インド)
 展覧会名:ポップな南アジア:ポピュラーをめぐる芸術的探究
 展示期間: 2023年2月9日(木)～4月30日(日)
 作品点数:4点

	作者	作品名
1	アトゥル・ドディア	ガンボージ色のガッパル
2	ミヤーン・エジャーズル・ハサン	ドン！
3	ダリ・アル・マムーン	彼等がスピーチをしている間
4	マーリガーワゲー・サルリス	出家:髪を切り落とすシッダールタ王子

貸 出 先:メルボルン大学アーツ・ウエスト・ギャラリー(オーストラリア)
 展覧会名:残像:中国・香港・台湾のニューメディア・アート
 展示期間: 2023年3月27日(月)～6月27日(火)
 作品点数:1点

	作者	作品名
1	ツァオ・フェイ(曹斐)	コスプレイヤー

作者		作品名
1	チャクリット・チムノーク	身体・創造力・乾燥したバナナの葉
2	ニンディティオ・アディブルノモ	私はそんなジャワ人ではない
3	ヘリ・ドノ	うわさ話のガムラン

観覧者数

年度別観覧者数

年度別	開館日数	常設展	特別企画展	貸館展覧会等	合計	1日平均
平成10年度	22		22,250		22,250	1,011
11年度	242	38,530	149,395	70,336	258,261	1,067
12年度	309	66,421	118,677	106,529	291,627	944
13年度	302	29,632	15,330	186,987	231,949	768
14年度	301	45,472	71,375	40,452	157,299	523
15年度	307	56,623	167,353	64,827	288,803	941
16年度	305	39,828	37,815	81,015	158,658	520
17年度	294	42,679	107,203	90,714	240,596	818
18年度	307	53,872	69,007	96,847	219,726	716
19年度	309	45,501	81,972	88,543	216,016	699
20年度	307	50,719	67,797	142,131	260,647	849
21年度	286	35,740	111,635	77,814	225,189	787
22年度	307	40,820	57,272	83,921	182,013	593
23年度	311	62,267	57,101	150,081	269,449	866
24年度	313	66,876	54,893	188,001	309,770	990
25年度	311	54,509	204,388	84,587	343,484	1,104
26年度	288	39,412	61,915	141,305	242,632	842
27年度	311	49,477	54,117	186,158	289,752	932
28年度	311	65,061	49,082	137,182	251,325	808
29年度	313	66,383	62,999	183,358	312,740	999
30年度	312	56,467	64,460	160,262	281,189	901
令和1年度(※1)	293	29,284	62,362	120,444	212,090	724
2年度(※1)	265	14,848	0	61,541	76,389	288
3年度(※1)	244	32,129	25,765	68,970	126,864	520
4年度	313	56,480	47,475	252,988	356,943	1,140
累計	7,183	1,139,030	1,821,638	2,864,993	5,825,661	

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により下記期間臨時休館
R1年度:2/27～3/20、R2年度:4/4～5/18、R3年度:5/12～6/20、8/9～9/13

月別観覧者数

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	14,119	27,492	24,811	27,290	33,855	7,929	27,688	32,852	12,740	38,235	47,289	62,643	356,943

あじびホール月別使用状況

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	7	9	8	9	11	24	25	12	10	6	8	15	144
人数	530	597	794	559	620	1,280	759	632	501	525	533	863	8,193

あじびホール年度別使用状況

年度別	件数	人数
平成10年度	21	1,730
11年度	110	8,480
12年度	106	9,682
13年度	58	8,834
14年度	50	5,849
15年度	70	7,353
16年度	87	8,681
17年度	89	7,336
18年度	109	11,609
19年度	113	11,487
20年度	145	13,360
21年度	102	8,227
22年度	119	10,198
23年度	119	12,750
24年度	148	14,069
25年度	134	13,183
26年度	113	9,698
27年度	135	11,361
28年度	135	12,874
29年度	153	13,835
30年度	149	15,415
令和1年度	154	13,068
2年度	79	4,031
3年度	80	4,842
4年度	144	8,193
累計	2,722	246,145

あじびホール使用状況内訳

催物別	件数	人数
講演会	5	228
セミナー	14	915
アーティストトーク	4	292
ワークショップ	6	189
映画	29	2,246
演劇	11	794
音楽	9	611
落語	13	1,225
漫才	9	848
展示	26	152
ボランティア	0	0
その他	18	693
合計	144	8,193

常設展・特別企画展

展覧会名	開催期間	日数	計	1日平均	有料観覧者数				無料観覧者数
					一般	高・大	小・中	計	
常設展	4月1日～3月30日 ※エモーショナル・アジア 期間除く	214	56,480	264	40,257	7,617	0	47,874	8,606
特別企画展 おいでよ！絵本ミュージアム2022	7月19日-8月28日	41	31,442	767	13,036	729	2,373	16,138	15,304
特別企画展 エモーショナル・アジア	9月15日-12月25日	86	16,033	186	11,223	1,562	0	12,785	3,248

貸館展覧会等 7階企画ギャラリー

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
アニメージュとジブリ展 一冊の雑誌からジブリは始まった	4月8日～7月10日	81	65,067	鈴木敏夫氏が12年弱編集した「アニメージュ」をもとに、『機動戦士ガンダム』から『風の谷のナウシカ』、スタジオジブリ誕生と『天空の城ラピュタ』までを振り返る展覧会。世界のアニメーションの歴史と昨今の日本文化に与えた影響も紹介
入江明日香展 時空の旅人	9月3日～10月9日	30	3,865	和洋問わず様々な技法で制作する「版画家」入江明日香氏の、初期から直近の代表作・人気作の他、2019年後に制作の大作や、近年取り組んでいる作品を展示
連載完結記念ゴールデンカムイ展 福岡会場	10月15日～11月27日	38	43,430	明治末期の北海道・樺太が舞台となった、漫画家・野田サトル氏原作の大人気漫画『ゴールデンカムイ』を冒険・歴史・文化・グルメ・狩猟等のテーマで展覧会を開催
第29回アジア美術家連盟日本委員会展	12月1日～12月6日	6	867	アジア美術家連盟が第30回アジア国際美術展の出品作家を選考し、同時に会員と外国人交流会員の大作、力作を自由な形式で発表する展示
「バンクシーって誰?展」福岡展	12月17日～3月26日	80	114,426	世界各都市を巡回し人気を博した「ジ・アート・オブ・バンクシー展」の傑作群を、日本オリジナルの切り口で紹介する意欲的な展覧会
合 計		235	227,655	

貸館展覧会等 8階交流ギャラリー

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
スマホだけの写真展	4月7日～4月12日	6	300	スマホカメラで撮られた写真をB2からB0サイズまでの大判写真パネルで展示する写真展
第51回春光展	4月14日～4月19日	6	404	春光書道会会員各自が詠んだ短歌や自分の好きな言葉を工夫を凝らし軸、額作品を展示
花と光のフェスティバル ～押花で描く雅の世界&おしゃれな手づくりアート作品展～	4月21日～4月26日	6	579	「押し花」を額装した額絵作品数十点をメインに、生花をそのまま乾燥させ額装したレカンフラワーなど手づくりアート作品を展示
遊美塾福岡写真展	4月28日～5月5日	8	1,019	感性のドアを開く写真教室「遊美塾」。その福岡メンバーの作品を中心とした写真展
第22回姚明水墨画書道展	5月7日～5月10日	4	187	姚明水墨画・書道作品約60点を展示、また水墨画、陶器、芸術作品約10点を展示
第9回躍動する現代作家展	5月12日～5月17日	6	567	現在活躍している作家の表現を多くの方々を知っていただき、アートと社会を繋げ文化として定着を図る事を目的とした展覧会
写真家 大坪亮太個展「Dear my …」	5月19日～5月24日	6	183	ご家族・ご友人・カップルなどの写真が主の「自分にとって大切な人」というテーマの写真展
日仏芸術文化最高勲章 受章記念 インターナショナルアーティスト 佐伯和子の絵画&オリジナルジュエリー展	5月26日～5月31日	6	651	ユニオン・デ・ザール(全芸術分野連合)選考「日仏芸術文化最高勲章」を受賞した佐伯和子がこれまでに受賞した作品を中心に絵画150点、ジュエリー200点を展示
京こま展2022	6月2日～6月7日	6	263	友禅染の着物の端切れを材料として制作されている伝統的な京こま。昔から伝えられている京こまを3つの視点から展示
亜州芸術双年展in 福岡	6月9日～6月14日	6	381	中国・日本・韓国・台湾から参加するアーティストが彫刻10点、装置10点、水墨画20点、油絵101点など約140点を展示
2022星雲大師一筆字書道展	6月16日～6月21日	6	193	台湾佛光山を開山した96歳高僧の星雲大師の一筆字書道展
田中愛己 田中孝林 兄弟展	6月23日～6月28日	6	208	印鈕作家・書家田中愛己と画家・田中孝林の兄弟展。印鈕作品等約100点と絵画「記憶のスケッチ」シリーズ14点や未発表作品約20点を展示
小山翔風個展「風が翔ぶ日」	6月30日～7月5日	6	329	書家・小山翔風の5回目の個展。書き下ろし作品と未発表作品を含め約50点の作品を展示、巨大な筆で書く書のパフォーマンス3回開催
第21回現美墨象展	7月7日～7月12日	6	630	書をアートとして捉え「脱皮と創造」を基盤に作品を発表し続け、書の国際化を進める現美書芸院が墨の造形は勿論、絵画的な作品や半立体などアートの垣根を越えた作品を展示
佐々木俊裕展 光との対話 絵画1996—2022	7月14日～7月19日	6	361	「光との対話」をテーマ・コンセプトに「界」「氣」「ロゴス」の3つのコーナーに分けて計37枚前後の絵画を展示した佐々木俊裕の個展
大西二士男写真展 笑福亭鶴瓶17年間の観察記 「ウラとオモテと本当の顔」	7月21日～7月26日	6	329	17年間落語ツアーに同行し、「バケモン」のように進化する笑福亭鶴瓶を撮影してきた大西二士男の写真展
第37回福岡市中学校総合文化発表会 美術部作品展	7月28日～8月2日	6	818	福岡市内の公立中学校美術部による「大切なもの」をテーマにした共同制作作品の企画展
ART SELECTION 2022	8月4日～8月9日	6	494	空間芸術TORAMが集めた、国内外で活躍する厳選されたアーティストの作品を展示
エンドレスジャーニー展・福岡 ～終わらせたい、強いられた旅路～	8月11日～8月16日	6	817	地中海、アフリカ・チャド湖周辺、シリア、ロヒンギャ、中米の難民・移民に焦点を当て、過酷な旅路や各地が抱える医療ニーズを紹介する展示
松田芙未子アート表装「游心会」作品展	8月18日～8月23日	6	303	江戸後期の小袖や江戸縮緬など稀少な古製や着物、帯を使って創作した屏風・掛軸・パネル・額装など約100点を展示
智書(さともしょ)展	8月25日～8月30日	6	490	筆ペン一本で自由に、相手へ自分の心を伝える智書の師範・生徒さん約140名が「感謝」をテーマに描いた作品を展示
第33回「マリナーズ・アイ展」	9月1日～9月6日	6	294	第33回となる本展では、海を題材とした公募作品3,247点(3,695枚)から選ばれた受賞作品120点の写真を展示
福岡市名誉市民西島伊三雄生誕100年記念 昭和「あの頃」展	9月8日～9月20日	12	1,718	童画家、デザイナー、TV司会者など多様に活躍した西島伊三雄氏が手掛けた童画、祭り、地下鉄シンボルマーク等を多数展示
暮らしを彩るパッチワークキルト展	9月22日～9月27日	6	1,258	リメンバーキルト・宮崎順子のパッチワーク教室と南フランス地方のキルトであるブティ教室(講師:徳弘陽子)による、それぞれの講師・生徒達による作品を展示
二人展	10月1日	1	56	「世界中で結婚式を挙げる」をテーマに、写真と手紙で美術作品として最愛の人への愛を表現した、世界一周をする夫婦の展示
Fixtype Portrait Fukuoka 2022	10月6日～10月11日	6	1,280	プロ、アマチュアカメラマン、モデル、ヘアメイクなどの個性あふれる九州最大のポートレートグループ展

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
第19回写真展 四季瞬景	10月13日～10月18日	6	808	全国各地の風景を個々の視点で切り取って撮影した、日本風景写真協会・福岡第一支部 写真展「四季瞬景」の第19回目。同時に支部設立20周年記念セミナー開催
伝統針線文化院 彩談亭 + Pojagi * Sesttam 韓国伝統手芸 チョガッポ 作品交流展「心を繋いで～ 중심을 잇다」	10月20日～10月25日	6	567	韓国大邱市の伝統針線文化院チェダムジョン会員47名と福岡市のボジャギセッタム会員25名の、韓国の伝統的な手芸チョガッポ(ボジャギ)等の作品約100点展示
Shakti (शक्ति)	10月27日～11月1日	6	200	サンスクリット語で努力等を意味する「シャクティ(शक्ति)」の題名通り、独学で芸術を学んだナターシャ氏の、努力が人生を進歩する為の原動力になると掲げる彫刻展
マルタ伝統工芸 ガヌテルアート展	11月3日～11月8日	6	915	Yumiガヌテルアート協会の会員による、マルタ共和国の伝統工芸で刺繍糸とワイヤーで作る花「ガヌテル」を用いた額・置物・アクセサリーの展示
福岡市退職小学校長会第45回作品展	11月10日～11月15日	6	286	退職した公立小学校校長による絵画、書、工芸、写真などの多岐にわたる作品を展示
素花 第6回ボジャギ展 私たちの手仕事 つなぐ、結ぶ～人・布・紐	11月17日～11月23日	7	696	韓国の伝統工芸「ボジャギ・メドゥッ(組みひも)」の技術と技法を学んできたボジャギ工房素花による、第5回目となる作品展
あさまだき	11月25日～11月29日	5	323	九州産業大学芸術学部 写真・映像メディア学科進藤研究室18名による写真展。写真撮影を通して自らの関心を深め、多様なアプローチから展開していく写真表現約150点を展示
ジェンダー作品 巡回展	12月1日～12月6日	6	199	九州大学芸術工学研究院社会包摂デザイン・イニシアティブセンターが2019年～2022年に作成したジェンダーに関する作品展示及び福岡市と九州大学芸術工学研究院社会包摂デザイン・イニシアティブが連携した「写真とことば」ジェンダーデザイン・コンテストの第1回(2021年)と第2回(2022年)の入賞作品展示
第14回 はかた名匠展	12月8日～12月13日	6	1,507	13名の職人による博多人形・博多祇園山笠大工・博多織・博多曲物・高取焼本家味楽窯・博多包丁・表具・ゆかけ・ステンドグラス・木彫刻・彫金・切り絵・陶芸成竹窯の展示・体験・即売
イメージラボ写真教室 第22回作品展	12月15日～12月20日	6	404	福岡市で23年続く写真教室の、約60名ほどの受講生たちによる年に一度のバラエティ豊かな作品展
第60回オール福岡大学写真展	12月22日～12月25日	4	260	福岡大学のOB、OG、現役部員の写真、合計約50点の展示
100Asian Portraits 100人のアジア人の肖像 是本信高 写真展	1月5日～1月10日	6	579	日本で仕事や学業に励むアジアの100人に話を聞き、白黒フィルムで撮影した肖像写真をモノクロ印画紙プリントで展示
海の学び絵画コンクール作品展	1月12日～1月17日	6	289	海をテーマとした児童対象の絵画作品の中から厳選した水彩画60点の展示の他、子ども達が海を体験して親しんだ1年間の活動を収めた写真パネル展示とプロジェクターによる映像の紹介
九州産業大学 芸術学部 写真・映像メディア学科 百瀬ゼミナール写真展	1月19日～1月24日	6	379	百瀬ゼミナール所属の学部生・研究生・大学院生の22名が制作した作品や今回新たに取り組む作品を展示
令和4年度 博多区文化・芸術展	1月26日～1月31日	6	592	博多区在住あるいは通勤通学者、博多区のサークルに所属し活動している人対象の作品(絵画・写真・書・グラフィックデザイン)を展示し、ギャラリートーク等も開催
ART DECORATION 2023	2月2日～2月7日	6	533	来場者の方々へアート作品を飾るイメージを膨らませ、お家時間をアートで楽しむきっかけ作りの企画展
Kyushu Portrait Models Directory写真展	2月10日～2月12日	3	251	九州(出身/在住)のポートレートモデルという縛りを設け、九州で活躍中のフォトグラファー及びポートレートモデルにスポットライトをあてる写真展
専門学校九州ビジュアルアーツ 写真学科 PhotoExhibition2023	2月16日～2月21日	6	443	専門学校九州ビジュアルアーツ写真学科53期生の、自分自身と向きあい、写真と対峙しながら作り上げた写真作品を約300点展示
福岡大学美術部展	2月23日～2月28日	6	515	共に彩るという意味を込めた「共彩」をテーマに、1年間の創作活動の集大成となる、個性的で気合の入った油彩、水彩、CG、陶器、オブジェ等の作品86点を展示
鶴崎政志写真展 ジワる	3月2日～3月7日	6	390	「雑草」と呼ばれる草木を通して「都市と人と自然の関係性」を探るための作品展
ACI AUDITION 2022 入選作品展	3月9日～3月14日	6	241	日本・台湾で優れたアーティストの発掘と交流を目的としたコンペティションの応募作品の中から厳選された11名の作家と特別審査員の作家2人の作品展
愛知産業大学通信教育部造形学部建築学科 建築卒業研究展	3月16日～3月20日	5	250	愛知産業大学通信教育部造形学部建築学科の学生による通信で学んだ図面パネルや建築模型を展示
こどもたちとアート作家の春の散歩道展	3月23日～3月28日	6	392	アートを通して子どもたちの今と未来を応援する作品展。春休みにぴったりなワークショップも開催
第18回ぶらり葦ペンの会作品展	3月30日～4月4日	6	589	葦の茎から作り出したペンで風景画や静物画を描いて楽しんでいる教室の仲間達の作品展
合 計		295	25,720	

中尾智路

【展覧会企画】

2022. 9.30-10. 3 屋外展示「博多旧市街フェスティバル」妙楽寺、龍宮寺、櫛田神社、冷泉公園（福岡）
 2022.10. 6-11. 8 アーティスト・イン・レジデンスの成果展「都市に棲むものたち」
 2022.12. 3-12.11 アーティスト・イン・レジデンスの成果展「境界を縁どる一石・呼吸・埋立地」
 2023. 2.25- 3. 5 アーティスト・イン・レジデンスの成果展「記録と表現—立ち止まり、また動き出す」

【執筆】

2022. 5.23 「アートの扉「キエン・イムスィリ 音楽のリズム」」(毎日新聞・タ刊)
 2022.10. 6 「ゴースト・イン・ザ・ボトル」レジデンスの成果展リーフレット
 2023. 3.31 「ヒンドゥーの神々の物語展を終えて」『ラピス』岡山市立オリエント美術館会報、43号、7頁

【講演等】

2022. 7.27 講演会「インド美術のおもしろ裏ばなし」岡山市立オリエント美術館
 2022.11. 3 講演会「だれかに言いたいインド美術裏話」古代オリエント博物館（東京）
 2022.11.27 シンポジウム「ソコニA.I.ハアルノカイ？」九州大学大橋キャンパス（福岡）
 2022.12.18 講演会「現代に生きるインドのフォークアート」和歌山県立近代美術館
 2023. 3.11 シンポジウム「九州AIR再考」福岡アジア美術館

【その他】

- 2022 令和4年度国立民族学博物館文化資源共同研究員
 2022.11 アジアデジタルアート大賞展審査員

五十嵐理奈

【展覧会企画】

2022. 9.15-12.25 コレクション展「あじびレジデンスの部屋 第2期—踊りませんか？チョン・ヨンドゥ」
 2022. 9.30-10. 3 屋外展示「博多旧市街フェスティバル」東長寺（福岡）
 2022.10. 6-11. 8 アーティスト・イン・レジデンスの成果展「都市に棲むものたち」
 2022.12. 3-12.11 アーティスト・イン・レジデンスの成果展「境界を縁どる一石・呼吸・埋立地」
 2023. 1. 2- 3.21 コレクション展「あじびレジデンスの部屋 第3期—アバ・カバール（元気ですか）？ニンディティオ・アディプルノモ」
 2023. 2.25- 3. 5 アーティスト・イン・レジデンスの成果展「記録と表現—立ち止まり、また動き出す」

【執筆】

- 2022 「コトとしての視覚イメージ—バングラデシュ独立運動と独立戦争壁画」—橋大学社会学研究科博士学位論文、176頁。
 2022 「バングラデシュ美術教育のはじまり(1)—文化人の拠点としてのダッカ美術学校」『日本バングラデシュ協会メールマガジン』102号、2022年6月号、1頁。
 2022 「バングラデシュ美術教育のはじまり(2)—個性と自由のチッタゴン芸術学部、チッタゴン派の誕生」『日本バングラデシュ協会メールマガジン』106号、2022年10月号、1頁。
 2023 「バングラデシュ美術教育のはじまり(3)—忘れられたメヘシュワール・パシャ美術学校」『日本バングラデシュ協会メールマガジン』112号、2023年2月号、1頁。

【講演等】

2023. 3. 4 「価値を創造する美術館とは？」「足羽與志子先生退職記念シンポジウム『未来へ：想像、構想、創造』」—橋大学佐野書院（東京）

【その他】

- 2022 令和4年度国立民族学博物館文化資源共同研究員
 2022. 8 九州大学人文科学府現代文化論 非常勤講師

趙純恵

【展覧会企画】

2022. 4. 7- 6.14 コレクション展あじびコレクションX-1「日本人作家が描いた朝鮮」
2022. 9.15-12.25 特別企画展「エモーションナル・アジア 宮津大輔コレクション×福岡アジア美術館」
2023. 1. 2- 3.21 コレクション展「私から問うーアジアの現代写真Ⅰ」
2023. 1. 2- 3.21 コレクション展「境界を行き交うーアジアのインスタレーションⅠ」

【執筆】

2022. 5. 2 「【アートの扉】発見！お宝 福岡アジア美術館／2 李禹煥《線より》」(毎日新聞・東京タ刊)
2022. 9 「エモーションナル・アジア 宮津大輔コレクション×福岡アジア美術館展を考える」『エモーションナル・アジア 宮津大輔コレクション×福岡アジア美術館』展図録、p96
2023. 3 「エモーションナル・アジア 宮津大輔コレクション×福岡アジア美術館」九州藝術学会誌デアルテ39号「ミュージアム・ミュージアム」

【講演等】

2022. 5.25 「アジア美術の100年と現在」『女子美術大学芸術学部美術学科共通専門講座アート・アクティビズムA』(女子美術大学、オンライン)
2022.10.15 「福岡アジア美術館特別展エモーションナル・アジア 宮津大輔コレクション×福岡アジア美術館展を考える」第52回アジア近代美術研究会 福岡アジア美術館
2022.12. 4 「明治産業presents OUR CULTURE, OUR VIEWコラボイベント あなたの〈推し〉を見つけてみよう:はじめての〈コレクション推し活〉ワークショップ」、エモーションナル・アジア展関連イベント 福岡アジア美術館
2023. 1.24 出前講座「福岡アジア美術館の楽しみ方」田島公民館(福岡)

桑原ふみ

【展覧会企画】

2022. 4. 7- 9. 6 コレクション展「不安の時代ー1990年代以降の映像表現」
2022. 6.16- 9. 6 コレクション展あじびコレクションXーⅡ「ベトナム・モダンの写し鏡ータ・ティの作品世界」
2022. 9.15-12.25 特別企画展「エモーションナル・アジア 宮津大輔コレクション×福岡アジア美術館」(副担当)
2023. 1. 2- 3.21 コレクション展「旅立ちのとき」

【執筆】

2022. 4 「【アートの扉】発見！お宝 福岡アジア美術館／1 ルオン・シュアン・ニー「読書する若い娘」」(毎日新聞・東京タ刊)
2022. 9 「展覧会のはじまるところー学芸員による調査ノート」、「エモーションナル・アジア 宮津大輔コレクション×福岡アジア美術館」展図録

【講演等】

2022. 7.23 「ブイ・シュアン・ファイ作《チェオの役者》主題作品をめぐるー「モダン」と「ナショナル」の狭間で」、『民族藝術学会第164回例会「東南アジア近代美術の対対象とナショナル・アイデンティティ」』北九州市立美術館(福岡)
2022. 9.24 宮津大輔氏と学芸員によるギャラリートーク、「エモーションナル・アジア」展関連イベント 福岡アジア美術館
2022.10.15 「福岡アジア美術館特別展エモーションナル・アジア 宮津大輔コレクション×福岡アジア美術館展を考える」、『第52回アジア近代美術研究会』福岡アジア美術館
2022.11.26 「美術家たちの戦争と移動:タ・ティとブイ・シュアン・ファイを中心に」、『2022年度日本ベトナム研究者会議研究大会「ベトナム近代美術研究」』東京大学駒場キャンパス
2022.12.25 宮津大輔氏と学芸員によるギャラリートーク、「エモーションナル・アジア」展関連イベント 福岡アジア美術館

【その他】

2022. 4.17 「草野貴世ー紺屋の明後日」展アーティストトーク 聞き手 SRギャラリー(福岡)

蒲池昌江

【展覧会企画】

2022. 4. 7- 9. 6 コレクション展「あじびレジデンスの部屋 第1期 バナナの葉っぱ作品からSDGsを考える チャクリット・チムノー
ク」

2022.10. 6-11. 8 アーティスト・イン・レジデンスの成果展「都市に棲むものたち」

2022.12. 3-12.11 アーティスト・イン・レジデンスの成果展「境界を縁どる一石・呼吸・埋立地」

2023. 2.25- 3. 5 アーティスト・イン・レジデンスの成果展「記録と表現一立ち止まり、また動き出す」

【ワークショップ】

2022.11.17 お気に入りの作品を見つけよう! 久留米市立津福小学校

2022.12. 6 SDGsな作品を見つけよう! 静岡県立静岡東高等学校

2022.12. 9 アートカード体験 福岡市立南当仁小学校

【講演等】

2022. 9. 2 International Forum of Busan Culture and Arts Education Festival 事例発表

2022.11.23 「白鳥さんとアートを見る」ナビゲーター

【その他】

2022. 9-2023. 1 中村学園大学教育学部美術部門 非常勤講師

柏尾沙織

【展覧会企画】

2022. 6.30- 9. 6 コレクション展「あじびでGO GO! 乗り物大集合」

【執筆】

2022. 8 「国内美術館が所蔵する抽象画の逸品サイド・ハイダル・ラザ《クンダリニー》」『アートコレクターズ』no.161、生活の友
社、17頁。

2022. 9 「タッド・エルミターニョ」ほか14件の作家作品解説「エモーション・アジア宮津大輔コレクション×福岡アジア美術
館」展図録、福岡アジア美術館

2022.11 「宗教と関わりの深い作品をつくる海外の現代作家パンヤール・ウィチンタナサーン《魂の旅》」『アートコレクターズ』
no.164、生活の友社、34-35頁。

【その他】

2022 九州藝術学会会員

名簿

福岡アジア美術館美術資料収集審査会委員

水 沢 勉	神奈川県立近代美術館館長
後 小 路 雅 弘	北九州市立美術館館長
小 勝 禮 子	近現代美術史研究家・美術批評家

福岡アジア美術館レジデンス事業選考委員

山 出 淳 也	アーティスト、NPO法人BEPPU PROJECT前代表理事
細 淵 太 麻 紀	BankART1929 代表代行
城 一 裕	九州大学芸術工学研究院音響設計部門准教授
ロバート・ブラット	九州産業大学芸術学部芸術表現学科教授
山 口 洋 三	福岡アジア美術館学芸課長

福岡アジア美術館職員(令和5年3月31日現在)

総 館 長	柴 田 淳 司
館 長	岩 永 悦 子 (福岡市美術館長が兼務)
運 営 課 長	土 岩 英 隆
運 営 係 長	池 田 忠 浩
事 務 職 員	福 海 陽 子
事 務 職 員	山 下 晶 弘
会計年度任用職員	堅 田 裕 司
会計年度任用職員	石 橋 祐 太 郎
会計年度任用職員	篠 崎 奈 々
会計年度任用職員	木 下 華
会計年度任用職員	大 曲 律 子
会計年度任用職員	櫻 町 徹
学 芸 課 長	山 口 洋 三
収 集 展 示 係 長	ラワンチャイクン寿子
学 芸 員	趙 純 恵
学 芸 員	桑 原 ふ み
交 流・教 育 係 長	中 尾 智 路
学 芸 員	五 十 嵐 理 奈
学芸員(再任用)	黒 田 雷 児
会計年度任用職員	蒲 池 昌 江
会計年度任用職員	津 森 洋 子
会計年度任用職員	久 保 沙 織 (柏尾沙織)
会計年度任用職員	宮 川 緑
会計年度任用職員	堺 由 加 子
会計年度任用職員	松 本 彩 花

発 行 2023年10月
福岡アジア美術館
福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル7・8階
<https://faam.city.fukuoka.lg.jp/>
デザイン 城島印刷株式会社
印 刷 福岡アジア美術館
著 作 権 2023年(禁無断転載)



この紙は地球環境保護のため、
再生紙を使用しています。

